

証券コード:5401



新日鐵住金

NIPPON STEEL & SUMITOMO METAL

2016年度 1Q決算説明会

常務執行役員

宮本 勝弘

2016年7月28日

特に断りのない限り、本資料中の財務数値は連結数値

1. 2016年度1Q決算・上期見通し
2. 2016年度見通し
3. 中期経営計画の進捗状況
4. 参考データ

1. 2016年度 1Q決算・上期見通し

2016年度1Q決算・上期見通しの概況

2016年度上期の事業環境

- 国内鉄鋼需要は、第1四半期は季節性も含め低水準。第2四半期以降、自動車分野・建設分野の回復が期待される。
- 海外鉄鋼需要は世界全体でほぼ横ばい。アジア市況は年初来より急回復した後、調整局面に入り、足下落ち着きを見せているものの、供給圧力は依然として高く、引き続き動向を注視。
- 円高による直接・間接の業績影響が懸念されるが、英国のEU離脱決定後、為替レートの先行きが不透明であり注視が必要。

当社の取り組み

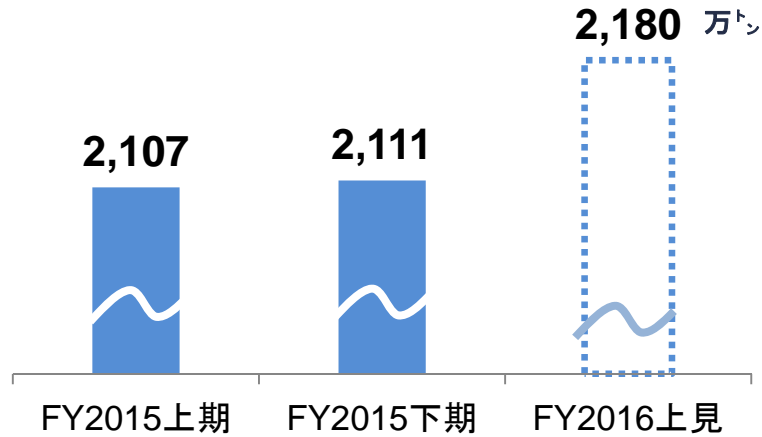
- マザーミル強化 : 鹿島コークス1F炉新設 8月立上予定
- グローバル事業強化 : 伯ウジナス社増資実行(10億リアル中 当社3.65億リアル、議決権比率29.3→31.3%)
- 国内アライアンス : 日新製鋼子会社化等スキームを決定(5/13公表 TOB&TPAで51%取得 買付価格1620円/株)
- 海外アライアンス : Vallourec社への出資拡大(6/20 転換社債の株式転換完了 出資比率1.5→15%、FY17~持分法適用予定)
- 自己株式取得 : 6/7完了 2/2以降累計取得 859億円・40百万株 (2/1公表 上限1,000億円・40百万株)

決算概況

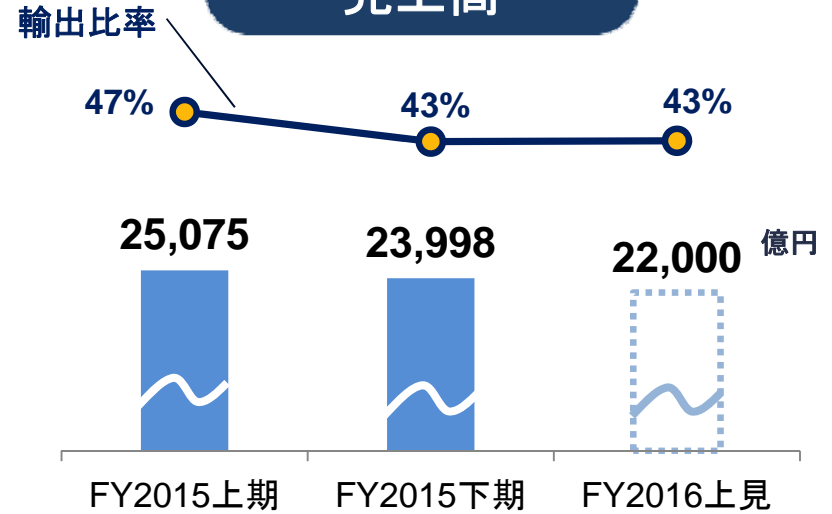
- 16年度第1四半期実績 : 経常損益 ▲120億円、特別損益 ▲62億円、当期損益 ▲146億円
- 16年度上期見通し : 経常損益 150億円、当期損益 0億円
- 16年度見通し : 経常損益 1,300億円
- 中間配当見送り

主要指標推移

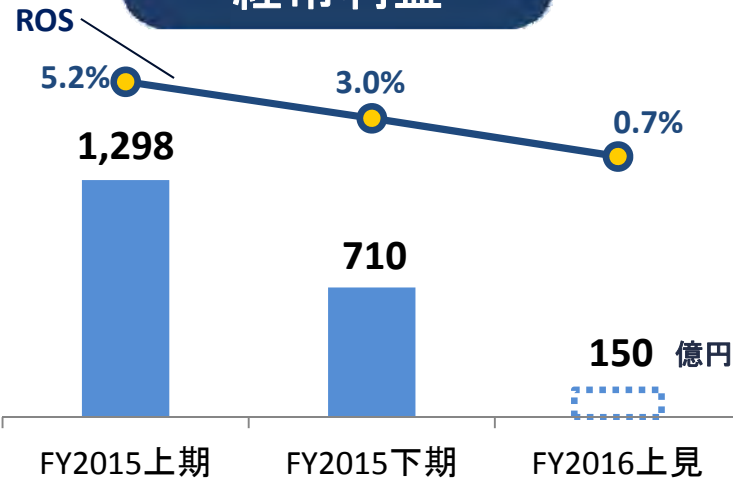
粗鋼生産量



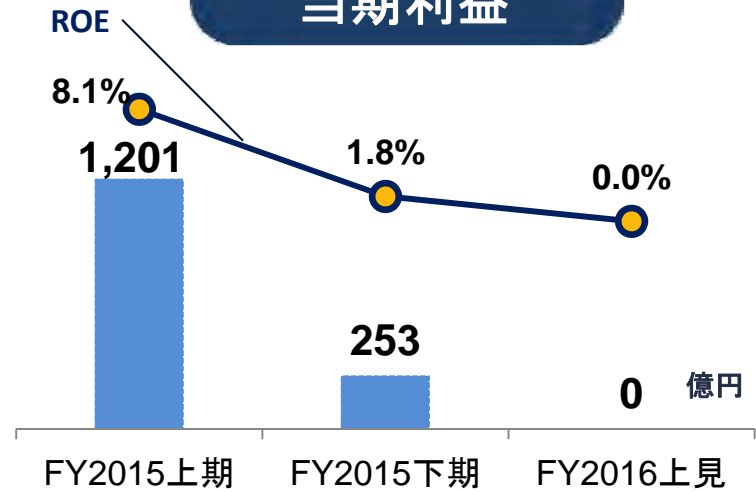
売上高



経常利益



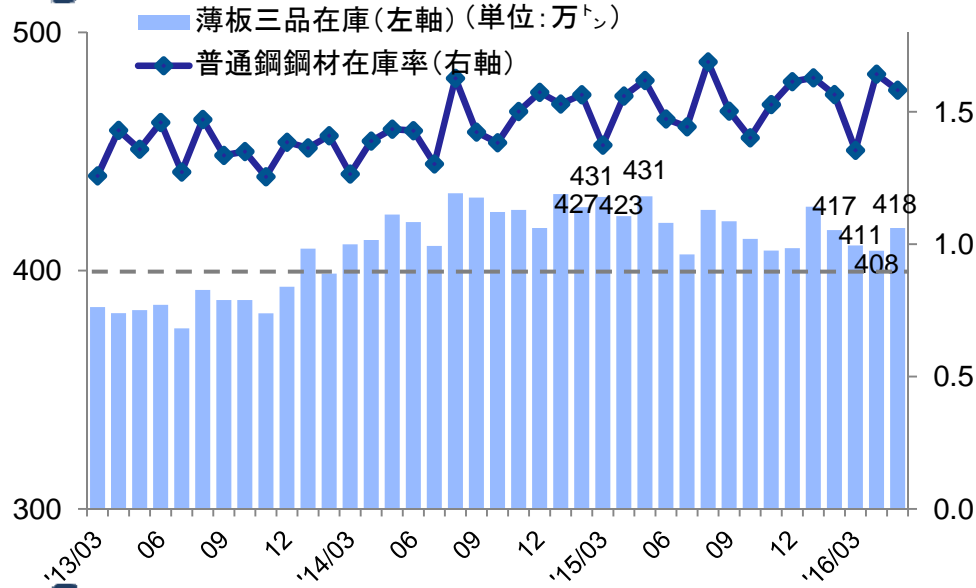
当期利益*



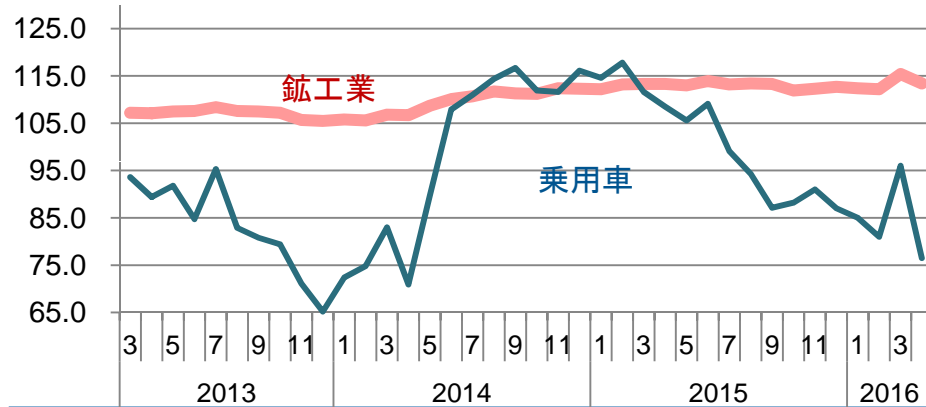
* 親会社株主に帰属する当期純利益

国内経営環境

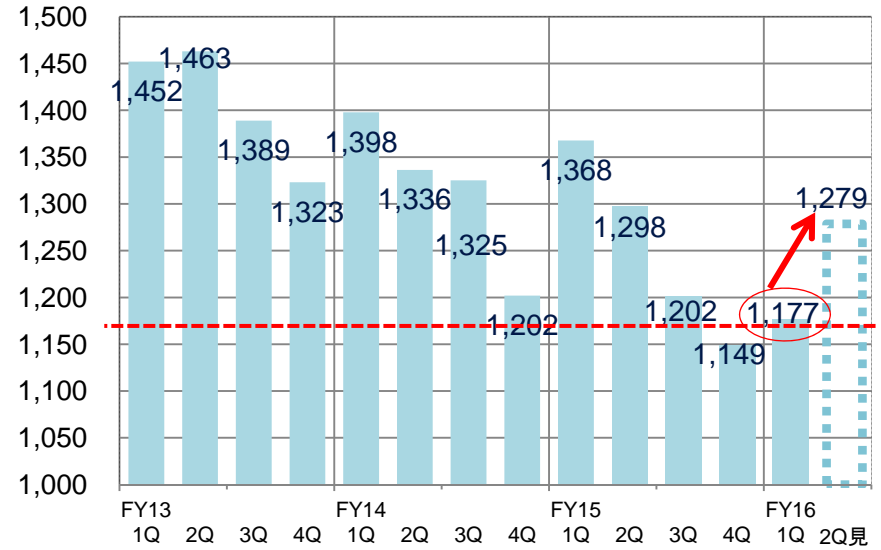
薄板三品在庫



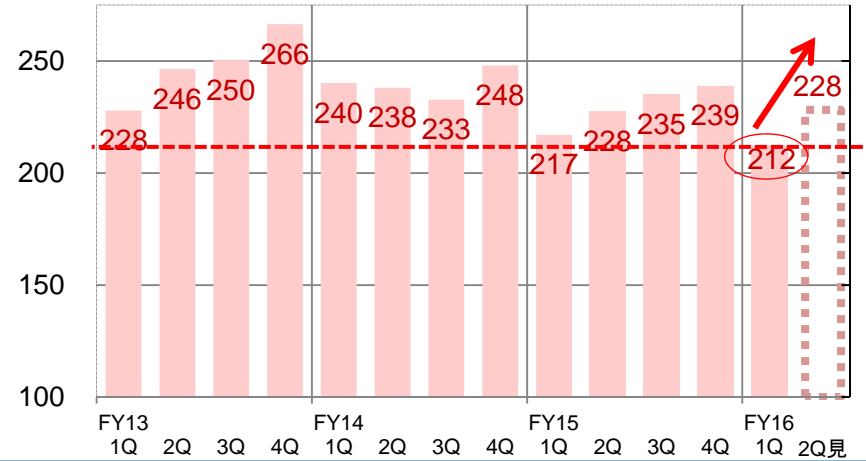
国内鋳工業在庫指数 (2010年=100)



非住宅着工床面積(万㎡)

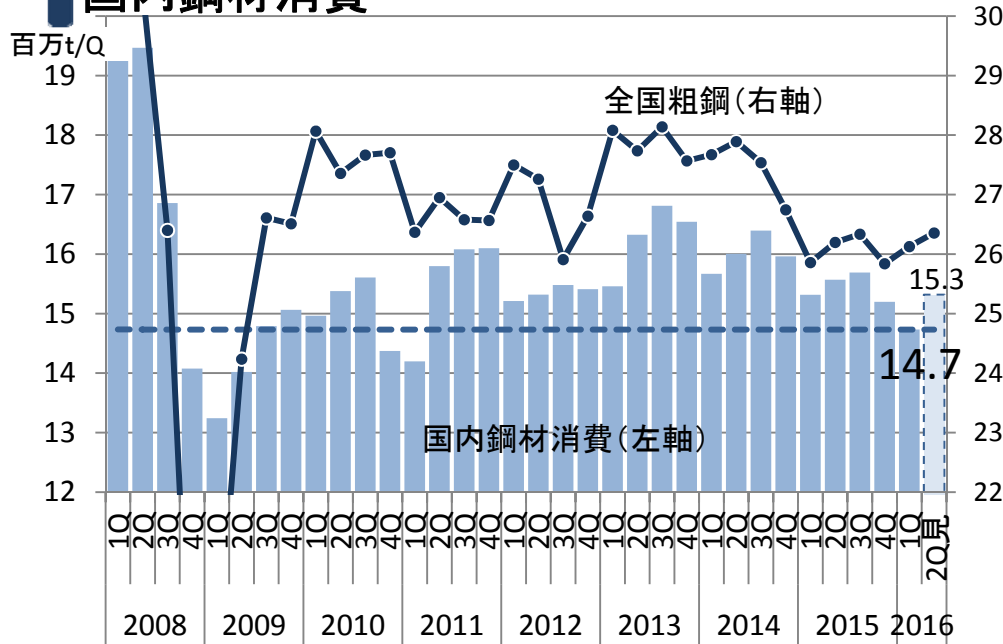


国内完成車生産台数(万台)

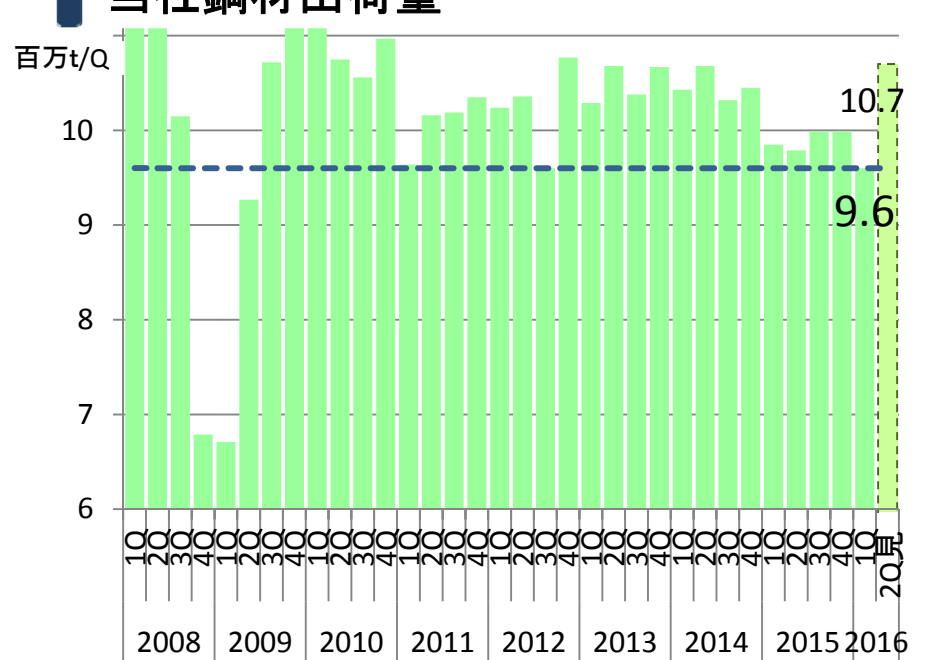


国内経営環境

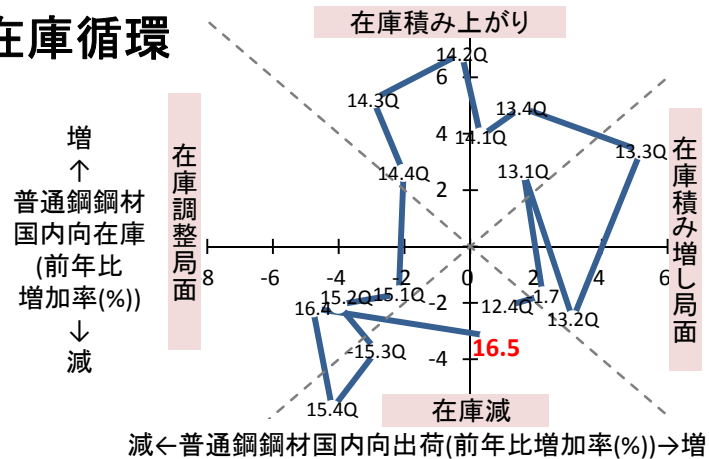
国内鋼材消費



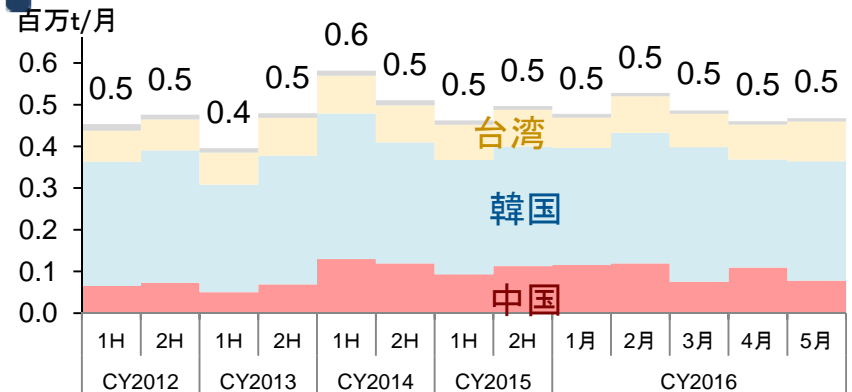
当社鋼材出荷量



国内鋼材在庫循環

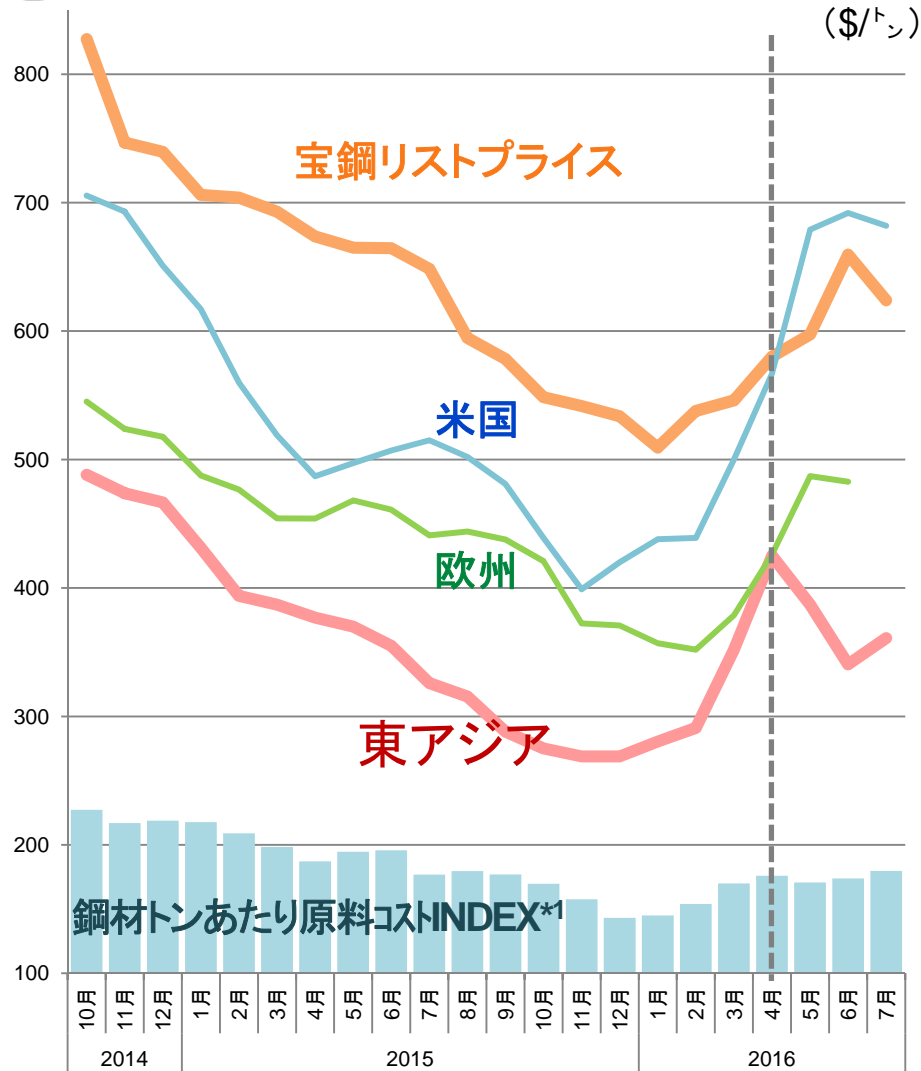


日本への輸入材

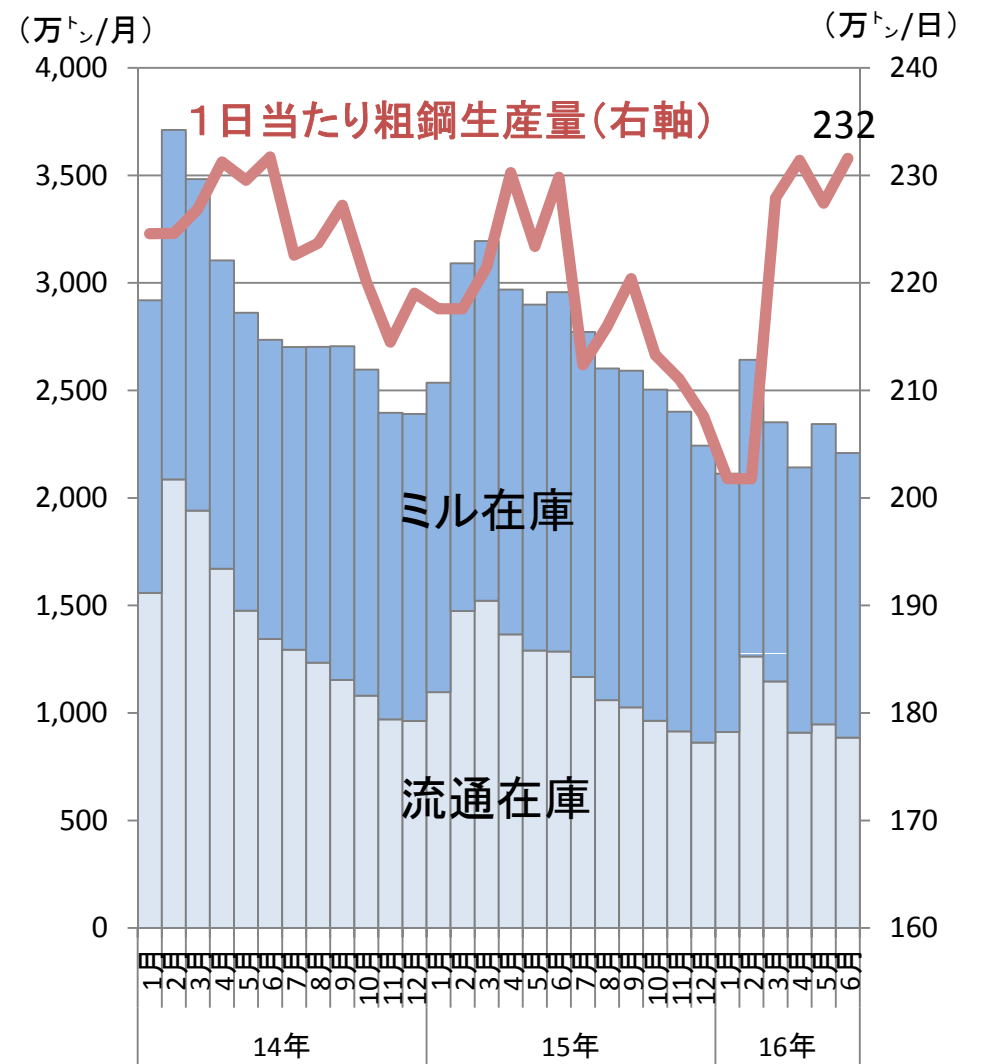


海外経営環境

各国熱延市況



中国粗鋼生産と鋼材在庫

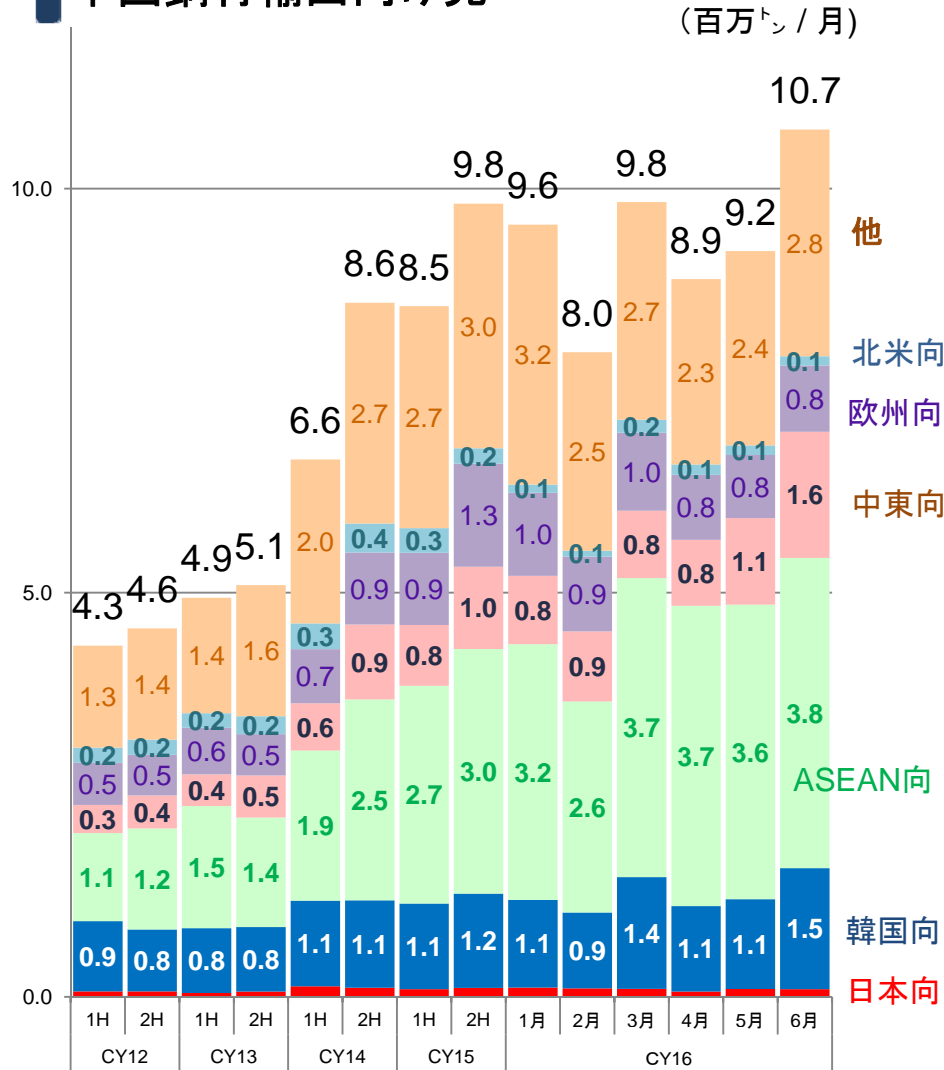


*1 鉱石市況 × 1.7 + 石炭市況 × 0.9で計算

(出所: CISA、MYSTEEL)

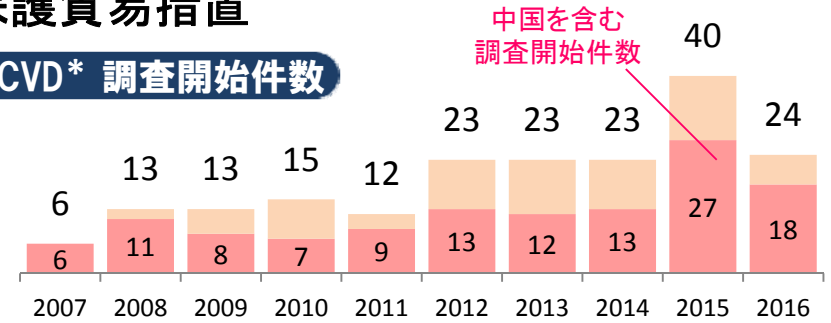
海外経営環境

中国鋼材輸出向け先

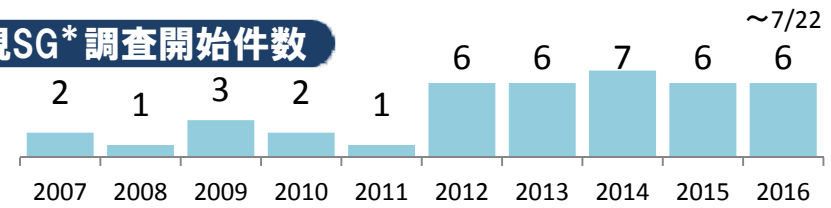


保護貿易措置

AD/CVD* 調査開始件数



新規SG* 調査開始件数



現在発動中もしくは調査中のAD・SG件数

		提訴国							
		米国	カナダ	欧州	タイ	マレーシア	インドネシア	他	
対象国	AD件数	207	44	15	15	17	5	7	104
	中国	110	15	9	12	11	5	6	52
	韓国	58	14	5	1	7	3	4	24
	台湾	45	12	3	1	6	1	4	18
	日本	31	13	2	1	2	-	1	12
品種	SG件数	23	-	-	-	3	3	4	13
	鋼板	10	-	-	-	2	1	1	6
	条鋼	10	-	-	-	1	2	2	5
	鋼管	3	-	-	-	-	-	1	2

* AD:アンチダンピング / CVD:相殺関税 / SG:セーフガード

(出典: 日本鉄鋼連盟)



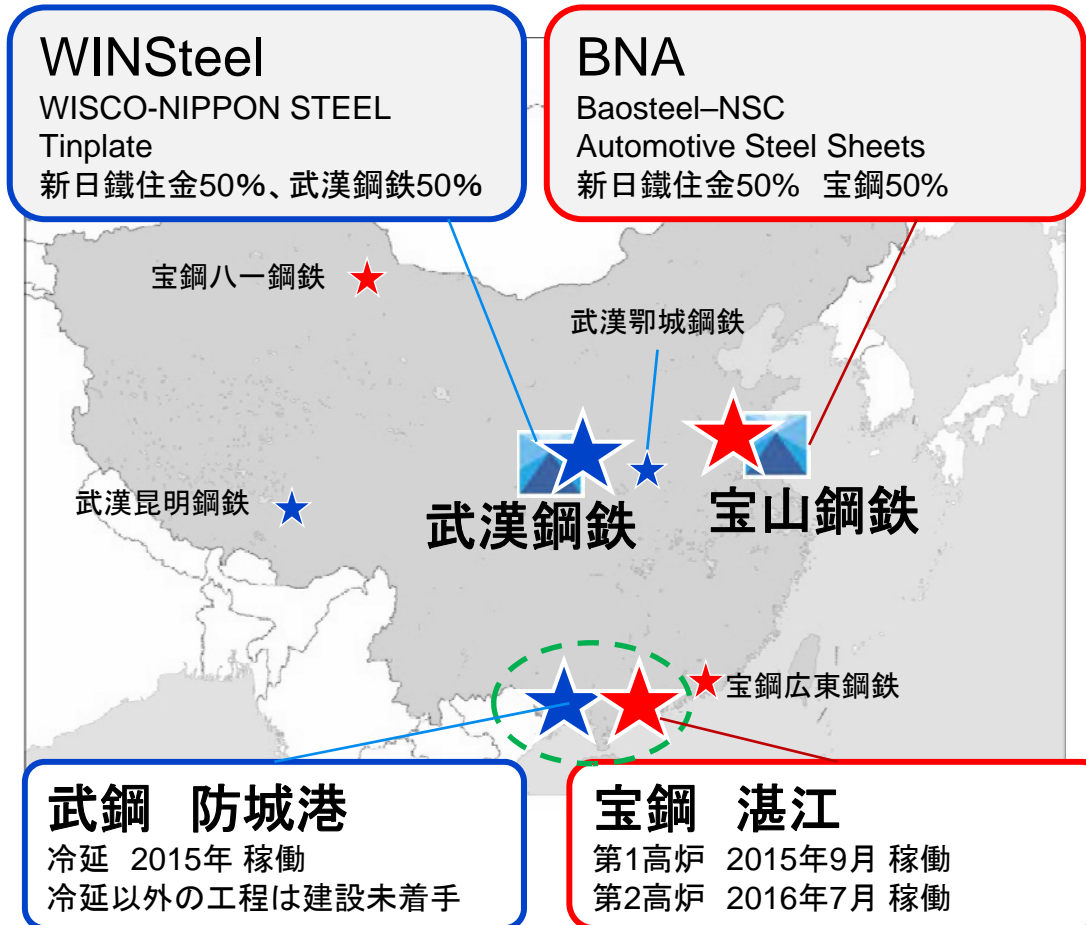
海外経営環境: 宝鋼・武漢の再編

粗鋼生産6,000万t、世界第2位のメーカーへ⇒構造調整の進展に期待

2015年粗鋼生産量(百万t)

1	アルセロールミタル(欧)	97.1
2	宝鋼+武漢	60
2	河北鋼鉄(中)	47.7
3	新日鐵住金	46.4
4	ポスコ(韓)	42.0
5	宝山鋼鉄(中) Baosteel	34.9
6	江蘇沙鋼(中)	34.2
7	鞍山鋼鉄(中)	32.5
8	JFE(日)	29.8
9	首鋼集團(中)	28.6
10	タタスチール(印)	26.3
11	武漢鋼鉄(中) WUHAN IRON AND STEEL CORP.	25.8

両社とも当社とは下工程JVのパートナー



両社とも華南地区に最新鋭ミルを立ち上げ中

主要需要分野の活動水準

〔国内〕		FY15					年度	FY16			差異	
		1Q	2Q	上期	4Q	下期		*2 1Q	*2 2Q 見通し	*2 上期 見通し	15/1Q → 16/1Q	15/上 → 16/上見
建設	住宅着工戸数 (万戸)	24	24	47	22	45	92	23	23	46	-1	-1
	非住宅着工面積 (万㎡)	1,368	1,298	2,666	1,149	2,351	5,017	1,177	1,279	2,455	-191	-210
	公共工事受注*1 (10億円)	1,808	2,891	4,699	2,933	5,444	10,142	1,789	2,778	4,567	-19	-132
自動車	完成車生産台数 (万台)	217	228	445	239	474	919	212	228	441	-5	-4
	完成車輸出台数 (万台)	107	116	223	111	235	458	108	123	231	+1	+8
	海外生産(8社) (万台)	443	434	877	451	907	1,784					
産業機械	大中型ショベル (千台)	16	16	32	16	31	63	12	14	26	-4	-5
	金属工作機械 (千ト)	119	118	237	105	214	452	103	113	216	-17	-21
造船	新造船起工 (万グロストン)	327	320	647	305	615	1,262	300	305	605	-27	-42

リグカウント状況	CY09	CY10	CY11	CY12	CY13	CY14	CY15	CY16	直近	直近ピーク	直近ボトム
米国	1,089	1,546	1,875	1,919	1,761	1,862	977	488	462 ('16/7/22)	2,031 ('08/9/12)	404 ('16/5/20)
深井戸(≥15,000ft)	249	249	395	324	326	354	205	145	98 ('16/5)	413 ('11/11)	98 ('16/5)
北米・露・中を除く世界	997	1,094	1,167	1,234	1,296	1,337	1,167	979	927 ('16/6)	1,382 ('14/7)	927 ('16/6)

(出所:各種統計資料・当社推定) *1 建設工事受注動態統計の公共工事受注額 *2 6月中旬見込み値

国内主要需要分野の鋼材消費

(単位:万ト)	FY15						FY16			差異	
	1Q	2Q	上期	4Q	下期	年度	1Q*	2Q* 見通し	上期* 見通し	15/1Q → 16/1Q	15/上 → 16/上見
全国粗鋼生産量	2,586	2,620	5,205	2,584	5,217	10,423	2,620	2,636	5,256	+34	+51
国内鋼材消費	1,532	1,557	3,089	1,520	3,089	6,178	1,473	1,532	3,005	-59	-84
製造業比率 (%)	63.2	62.6	62.9	63.2	63.0	62.9	63.6	63.3	63.5	+0.4	+0.6
普通鋼鋼材消費	1,220	1,240	2,459	1,213	2,457	4,917	1,164	1,211	2,375	-56	-85
建設	536	553	1,089	531	1,087	2,176	509	533	1,042	-27	-47
製造業	684	687	1,370	682	1,370	2,740	655	678	1,332	-29	-38
ウチ、造船	111	109	220	105	209	429	105	105	210	-6	-10
ウチ、自動車	261	271	532	270	546	1,078	255	269	524	-6	-8
ウチ、産業機械	124	119	243	114	231	474	112	118	230	-12	-13
ウチ、電気機械	73	73	146	73	145	291	70	72	142	-3	-4
特殊鋼鋼材消費	312	317	629	307	631	1,261	309	321	631	-3	+1
鋼材輸入	150	159	309	162	329	638					
鋼材輸出	949	946	1,895	933	1,867	3,762					

(出所:各種統計資料・当社推定)

* 6月中旬見込み値

当社製鉄事業主要指標

(単位:万トン)	FY15						FY16			差異	
	1Q	2Q	上期	4Q	下期	年度	1Q	2Q 見通し	上期 見通し	15/1Q → 16/1Q	15/上 → 16/上見
出鉄量*	1,045	1,089	2,135	1,052	2,117	4,251	1,049	1,120	2,170	+4	+35
粗鋼生産量(連結)	1,089	1,139	2,227	1,112	2,226	4,453	1,116	1,180	2,300	+28	+73
粗鋼生産量(単独)	1,031	1,076	2,107	1,055	2,111	4,217	1,058	1,120	2,180	+27	+73
鋼材出荷量	985	979	1,964	999	1,998	3,962	960	1,070	2,030	-25	+66
シームレス出荷量	23	21	44	20	40	83	24	23	47	+1	+3
鋼材平均価格 (千円/トン)	82.8	79.8	81.3	70.6	73.1	77.1	68.1	66	67	-14.7	-14.3
鋼材輸出比率(% [金額ベース])	48	46	47	43	43	45	43	43	43	-5	-4
為替レート(¥/\$)	121	122	122	118	120	121	111	100	105	10円高	17円高

* 北海製鉄・日鉄住金鋼鉄和歌山含み

2016年度1Q決算・上期見通し

(単位:億円)	FY15						FY16			差異	
	1Q	2Q	上期	4Q	下期	年度	1Q	2Q 見通し	上期 見通し	15/1Q → 16/1Q	15/上 → 16/上見
売上高	12,649	12,426	25,075	11,915	23,998	49,074	10,511	11,489	22,000	-2,138	-3,075
営業損益	523	459	983	200	693	1,677	-73			-596	
経常損益	844	454	1,298	159	710	2,009	-120	270	150	-964	-1,148
特別損益	192	282	475	-173	-177	298	-62			-254	
当期損益 ^{*1}	727	473	1,201	-76	253	1,454	-146	146	0	-873	-1,201
[1株当り 当期損益] ^{*2}	[79.7]	[51.7]	[131.2]	[-8.3]	[27.6]	[158.7]	[-16.4]	[16.4]	[0.0]	[-96.1]	[-131.2]
EBITDA	1,257	1,245	2,502	999	2,257	4,759	641			-616	
EBITDA / Sales	9.9%	10.0%	10.0%	8.4%	9.4%	9.7%	6.1%			-3.8%	
ROS	6.7%	3.7%	5.2%	1.3%	3.0%	4.1%	-1.1%	2.4%	0.7%	-7.8%	-4.5%
ROE	9.8%	6.4%	8.1%	-1.1%	1.8%	5.1%	-2.2%			-12.0%	

*1 親会社株主に帰属する当期純利益

*2 2015年10月1日を効力発生日として、10株を1株とする株式併合を実施したため、2015年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり当期利益を算定



新日鐵住金

NIPPON STEEL & SUMITOMO METAL

特別損益

(単位:億円)

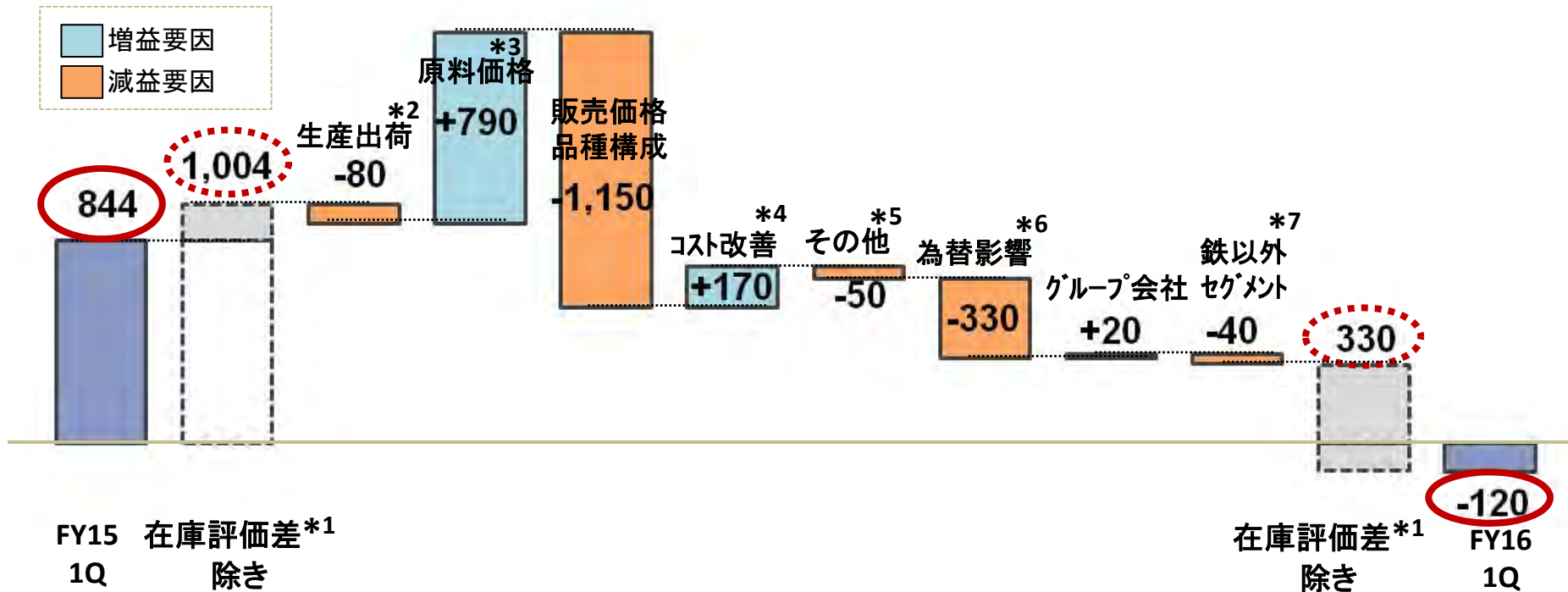
	FY15						FY16
	1Q	2Q	上期	4Q	下期		1Q
事業再編損	—	—	—	—	—	—	-62
関係会社株式売却益	334	-0	334	-8	-8	326	—
受取和解金	—	300	300	—	—	300	—
減損損失	—	—	—	-137	-137	-137	—
設備休止関連損失	-141	-17	-158	-27	-32	-190	—
特別損益	192	282	475	-173	-177	298	-62

(調整ページ)

経常損益分析 (FY15/1Q→FY16/1Q)

(単位:億円)	FY15/1Q [A]	FY16/1Q [B]	増減 [A→B]
経常利益	844	-120	-964
製鉄	747	-161	-908
鉄以外セグメント	97	54	-43
調整額	-0	-13	-13

- *1 在庫評価差 -290 (-160 → -450)
- *2 粗鋼+27万トン(1,031→1,058)
出荷-25万トン(985→960)
- *3 キャリーオーバー影響含む
- *4 統合効果含む
- *5 退職給付等
- *6 ストック-270(+100→-165) グループ: -60
- *7 エンジニアリング-5、化学-34、
新素材-4、システムソリューション+1

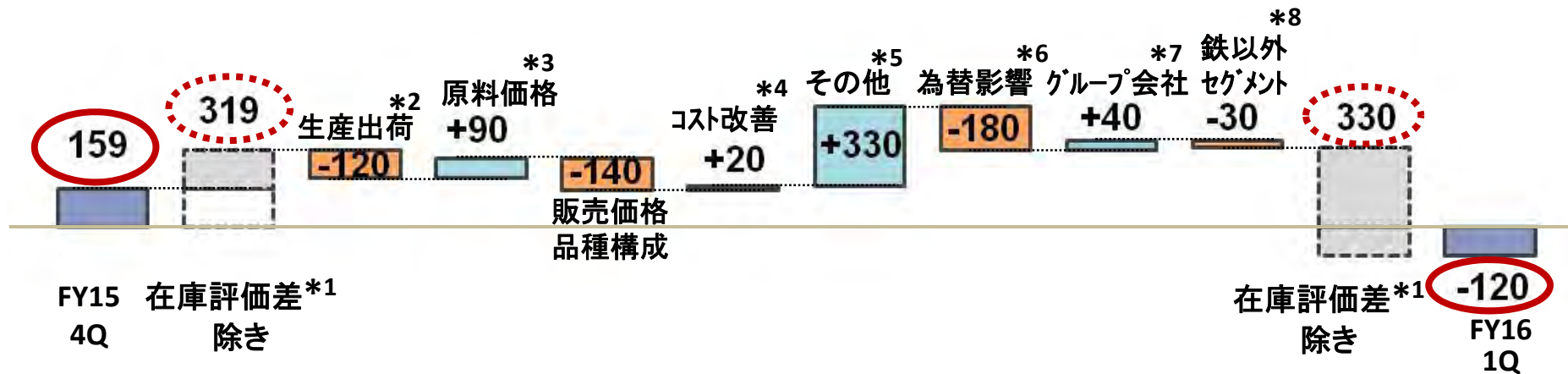


経常損益分析 (FY15/4Q→FY16/1Q)

(単位:億円)	FY15/4Q [A]	FY16/1Q [B]	増減 [A→B]
経常利益	159	-120	-279
製鉄	58	-161	-219
鉄以外セグメント	80	54	-26
調整額	20	-13	-33

- *1 在庫評価差 -290 (-160 → -450)
- *2 粗鋼+3万トン(1,055→1,058)
出荷-39万トン(999→960)
- *3 キャリーオーバー影響含む
- *4 統合効果含む
- *5 償却費、受取配当、固定費等期間差、在庫増減 等
- *6 ストック-140(-20→-165) 70:-40
- *7 一過性影響+30 (在庫評価、為替影響)
- *8 エンジニアリング-44、化学+14、
新素材+1、システムソリューション+2

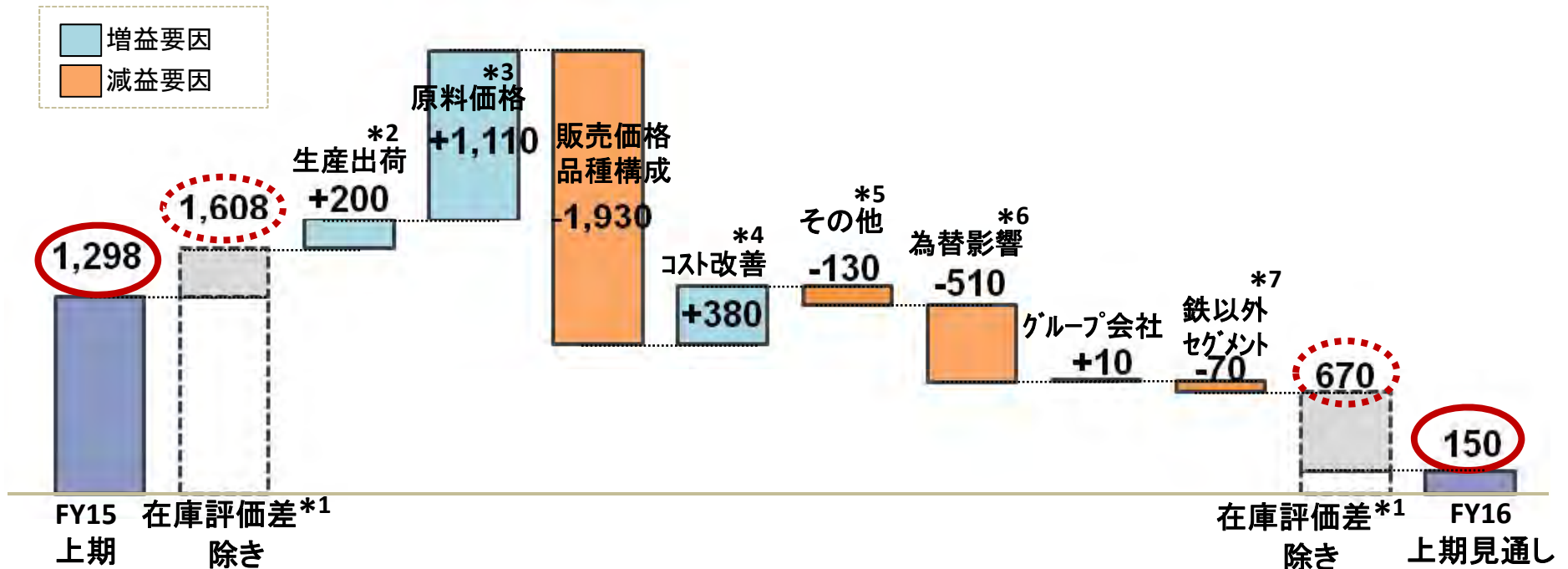
増益要因
 減益要因



経常損益分析 (FY15/上期→FY16/上期見通し)

(単位:億円)	FY15/上期 [A]	FY16/上見 [B]	増減 [A→B]
経常利益	1,298	150	-1,148
製鉄	1,107	50	-1,057
鉄以外セグメント	170	95	-75
調整額	20	5	-15

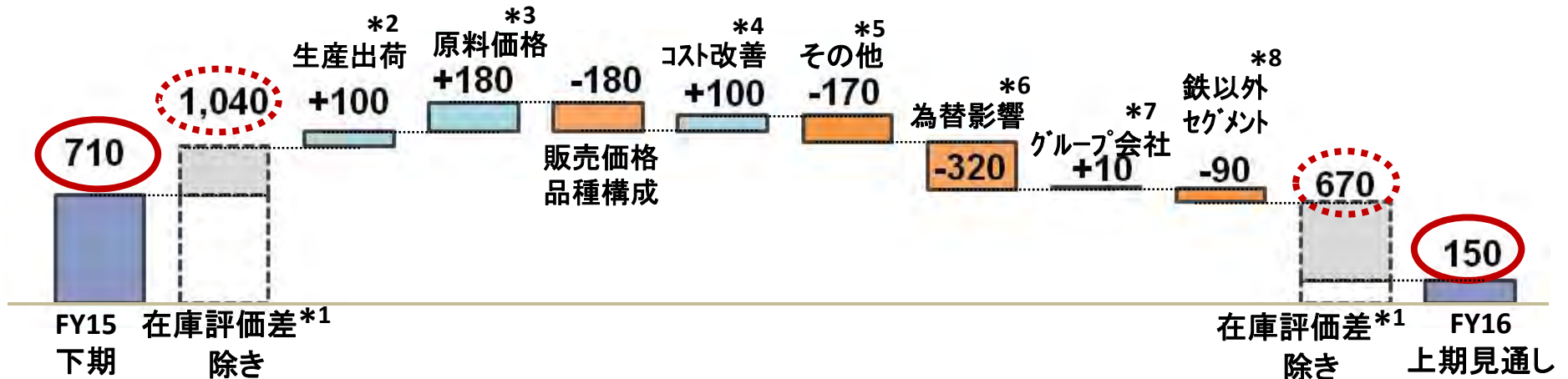
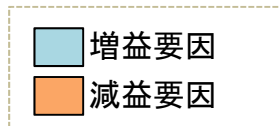
- *1 在庫評価差 -210 (-310 → -520)
- *2 粗鋼+73万トン程度(2,107→2,180程度)
出荷+66万トン程度(1,964→2,030程度)
- *3 キャリーオーバー影響含む
- *4 統合効果含む
- *5 退職給付、熊本地震影響等
- *6 ストック:-310 (+120→ -190) 為替:-200
- *7 エンジニアリング-31、化学-21、
新素材-11、システムソリューション-11



経常損益分析 (FY15/下期→FY16/上期見通し)

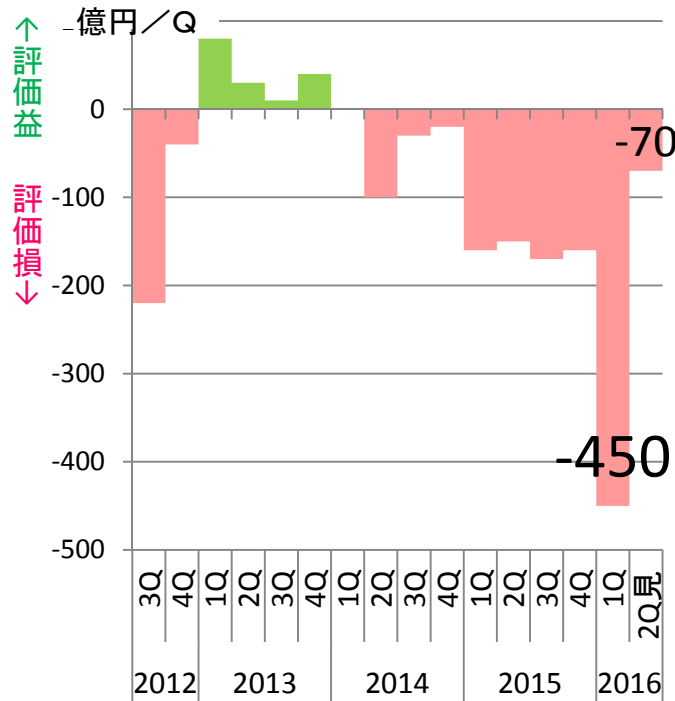
(単位:億円)	FY15/下期 [A]	FY16/上見 [B]	増減 [A→B]
経常利益	710	150	-560
製鉄	493	50	-443
鉄以外セグメント	187	95	-92
調整額	30	5	-25

- *1 在庫評価差 -190 (-330 → -520)
- *2 粗鋼+69万トシ程度(2,111→2,180程度)
出荷+32万トシ程度(1,998→2,030程度)
- *3 キャリーオーバー影響含む
- *4 統合効果含む
- *5 退職給付、熊本地震影響等
- *6 ストック:-140 (-50→-190) 7P:-180
- *7 一過性影響+140 (在庫評価、為替影響等)
- *8 エンジニアリング-109、化学+30、
新素材-9、システムソリューション-3

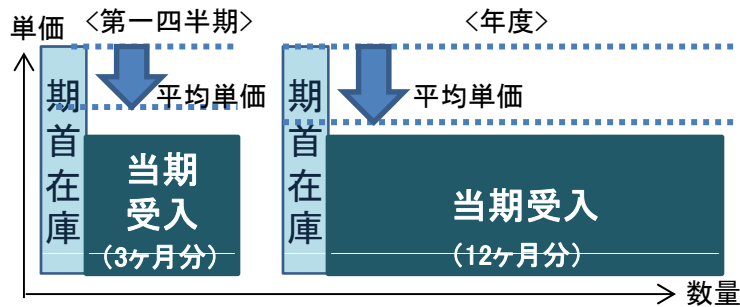


原料単価、為替レートと在庫評価差(モデル)

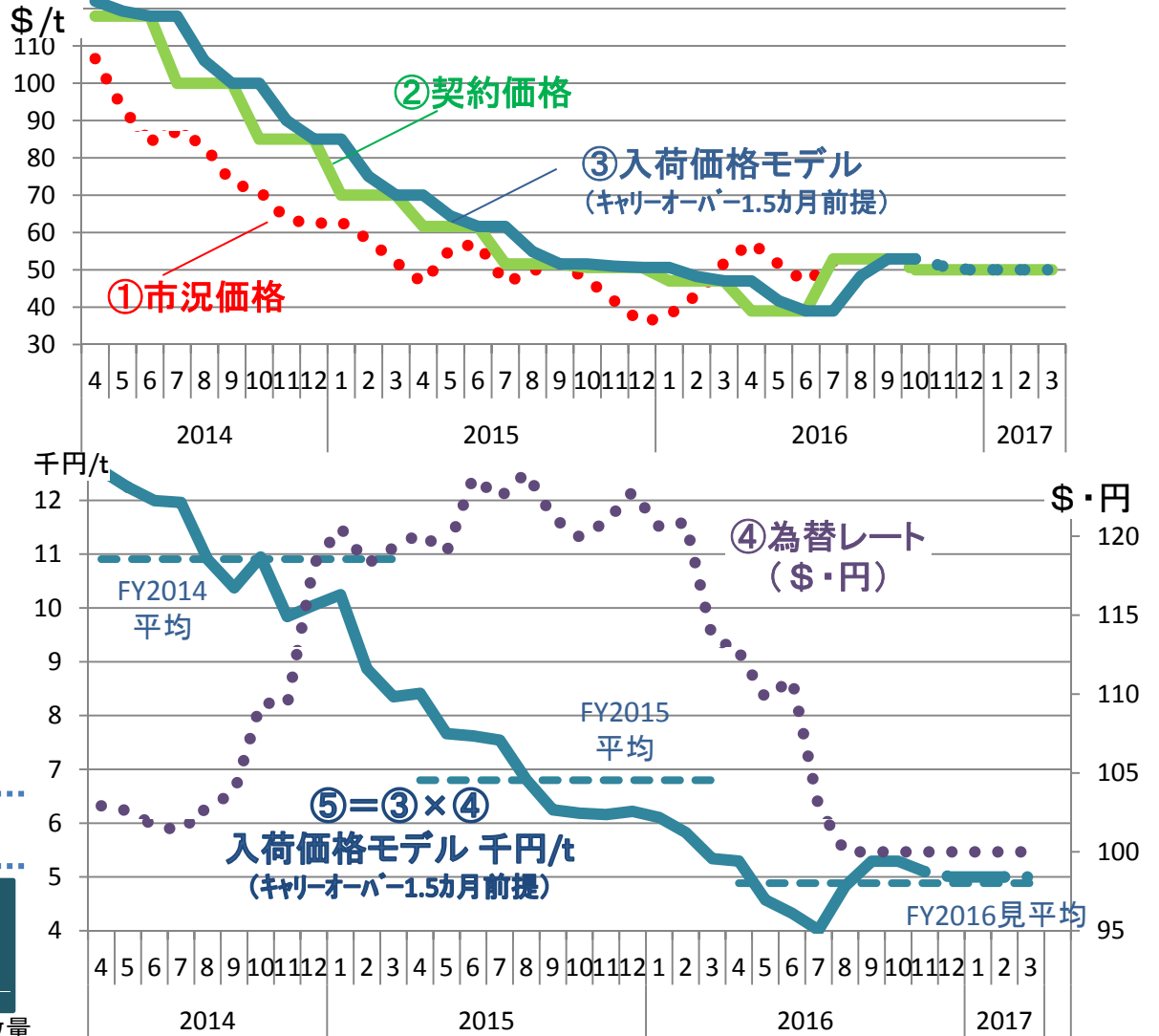
当社在庫評価差推移



総平均法による在庫評価差(モデル)



鉄鉱石単価・為替レートと在庫評価単価(モデル)



為替レート推移と業績影響

ドル・円 為替レート推移



輸出入フロー影響

原料輸入 支払 \$

鋼材輸出 受取 \$



外貨建資産 換算影響

在庫評価差損益影響

鉄グループ会社

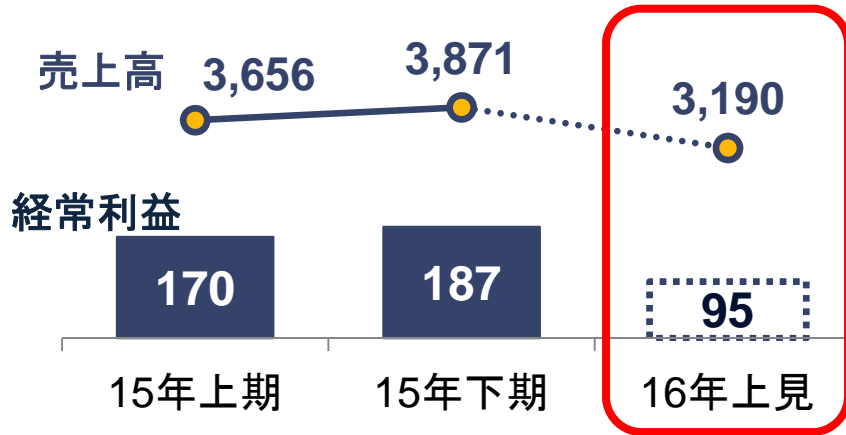
鉄以外セグメント

製鉄以外セグメント概況

売上高・経常利益推移

(単位:億円)

(4セグメント合計)



2016年度上期 経常損益動向 (前年同期対比)

エンジニアリング事業	↓ 減益	: 原油価格の低迷、海外鉄鋼メーカーの投資手控え、足元の円高の影響等により、減収減益の見通し
化学事業	↓ 減益	: 化学品の市況下落と円高等により減収、コールドケミカル事業の悪化や為替影響等により減益の見通し
新素材事業	↓ 減益	: 金属箔はHDD市場の低迷により需要減。表面処理銅ワイヤは、販売は順調も為替影響により減収・減益の見通し
システムソリューション事業	↓ 減益	: 業務ソリューションは公共向けを中心に、サービスソリューションは新日鐵住金向けを中心に減収の見通し

(単位:億円)

エンジニアリング事業	2015		2016	
	1Q	上期	1Q	上見
売上高	706	1,402	554	1,200
経常利益	17	21	12	-10

化学事業	2015		2016	
	1Q	上期	1Q	上見
売上高	522	1,013	392	800
経常利益	22	31	-12	10

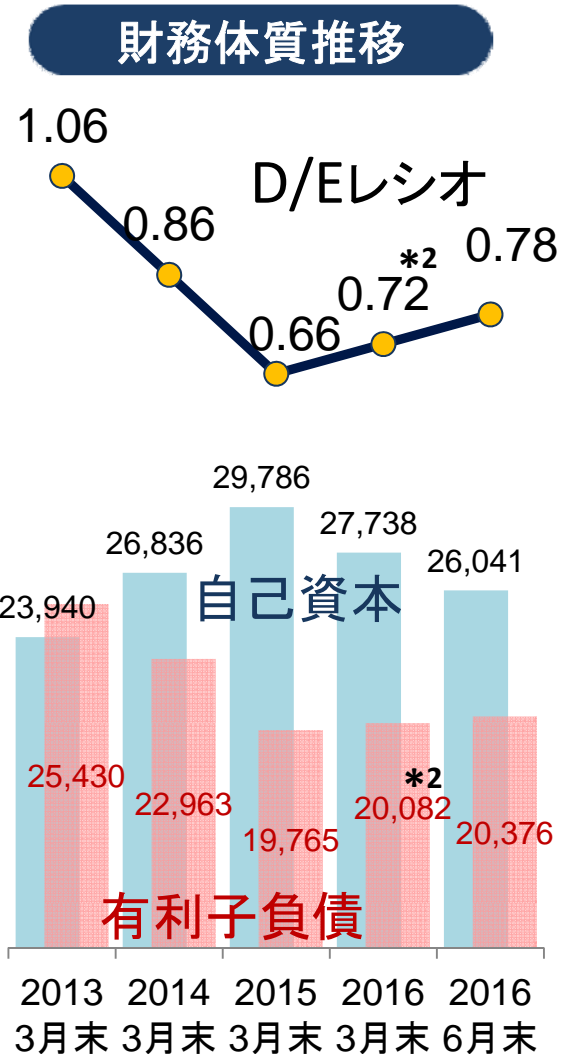
新素材事業	2015		2016	
	1Q	上期	1Q	上見
売上高	88	178	86	160
経常利益	8	16	4	5

システムソリューション事業	2015		2016	
	1Q	上期	1Q	上見
売上高	511	1,062	500	1,030
経常利益	48	101	49	90

貸借対照表

(億円)	2016年 3月末	2016年 6月末	(億円)	2016年 3月末	2016年 6月末
流動資産合計	19,900	18,657	負債合計	34,159	33,803
たな卸資産	11,109	10,831	有利子負債	20,082	20,376
固定資産合計	44,349	43,501	純資産合計	30,090	28,355
有形固定資産	25,792	25,612	自己資本	27,738	26,041
投資有価証券	5,924	5,421	評価差額金*1	1,713	1,130
関係会社株式	9,798	9,585	非支配株主持分	2,352	2,314
資産合計	64,250	62,159	負債純資産合計	64,250	62,159

	2016年3月末	2016年6月末	増減
総資産 (億円)	64,250	62,159	-2,091
有利子負債(〃)	20,082	20,376	+294
自己資本 (〃)	27,738	26,041	-1,696
D/Eレシオ (倍)	0.72	0.78	+0.06



*1 その他有価証券評価差額金 *2: 2015年7月に実施したハイブリッド証券から劣後ローンへのリファイナンス影響を含む。
(有利子負債3,000億円増、D/Eレシオ0.1程度増。格付け評価上影響は無い)

第2四半期末の剰余金の配当

当第2四半期末の剰余金の配当につきましては、既公表の配当方針に従い、誠に遺憾ではありますが、実施を見送る予定とさせていただきます。

< 剰余金の配当等の決定に関する方針 >

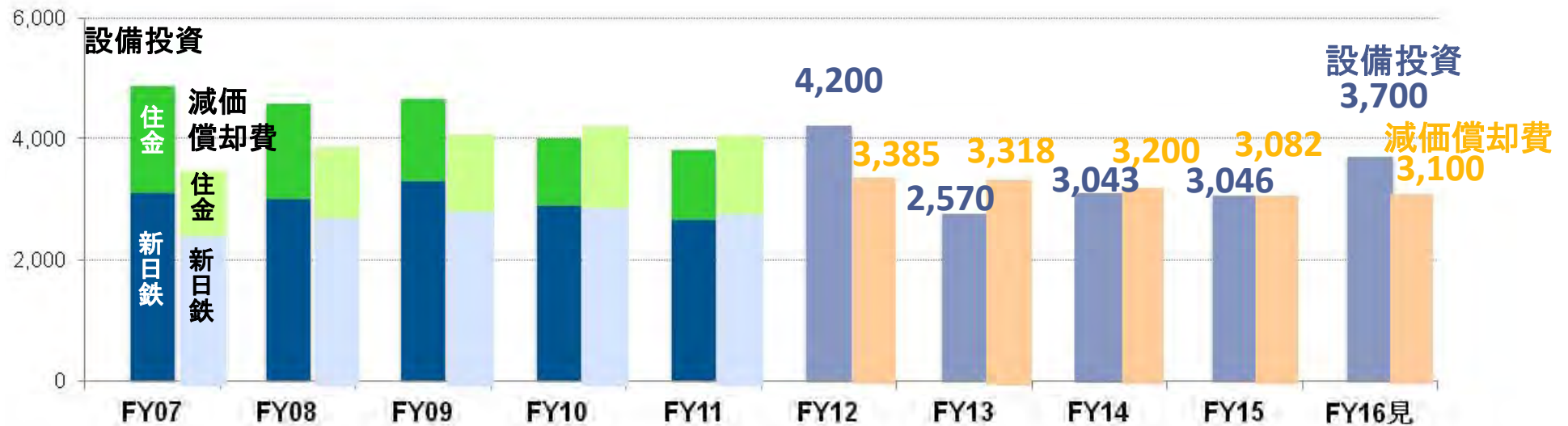
当社は、業績に応じた利益の配分を基本として、企業価値向上に向けた投資等に必要な資金所要、先行きの業績見通し、連結及び単独の財務体質等を勘案しつつ、第2四半期末及び期末の剰余金の配当を実施する方針と致しております。

「業績に応じた利益の配分」の指標としては、連結配当性向年間20～30%を目安と致します。

設備投資・減価償却費

(単位:億円)

新日鐵住金 (上段:新日鐵 下段:住金)	FY07	FY08	FY09	FY10	FY11	FY12	FY13	FY14	FY15	FY16見
設備投資 <工事ベース>	4,900 (3,100) (1,788)	4,600 (3,000) (1,591)	4,650 (3,300) (1,366)	4,000 (2,900) (1,099)	3,800 (2,650) (1,157)	4,200	2,570	3,043	3,046	3,700 程度
減価償却費	3,465 (2,440) (1,025)	3,835 (2,737) (1,098)	4,048 (2,840) (1,208)	4,177 (2,915) (1,262)	4,038 (2,809) (1,229)	3,385	3,318	3,200	3,082	3,100 程度



※ 設備投資：FY07～12の新日鐵住金は、新日鐵と住金の合算値を50億円単位で四捨五入

2. 2016年度見通し

2016年度下期見通し

2016年度下期は、海外需要は全体として横這いも、国内需要は自動車・建設中心に回復が期待される。2016年度下期としては、連結経常利益1,150億円、2016年度通期で1,300億円を目指す。

■ 下期見通しの考え方 (矢印: 対FY16上期 損益影響)

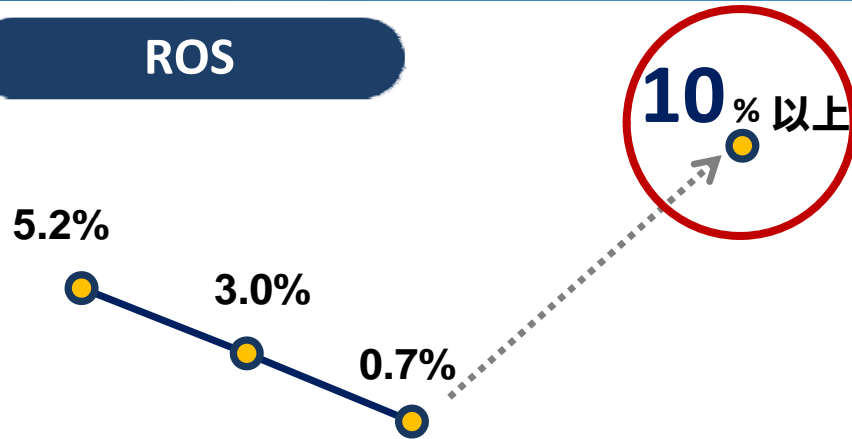
- ↑ コスト改善: 年間600億円以上
- ↑ グループ会社収益: 改善
- ↑ 在庫・為替評価差損: 縮小
- 当社生産・出荷: 上期並み横這い前提
- マージン: 上期並み横這い前提
- ↓ 為替(フロー影響): 2四期並み横這い前提

(単位: 億円)	FY15			FY16					差異	
	上期	下期	年度	1Q	2Q 見通し	上期 見通し	下期 見通し	年度 見通し	16/上見 → 16/下見	15年 → 16年見
売上高	25,075	23,998	49,074	10,511	11,489	22,000				
経常利益	1,298	710	2,009	-120	270	150	1,150	1,300	+1,000	-709
当期利益	1,201	253	1,454	-146	146	0				

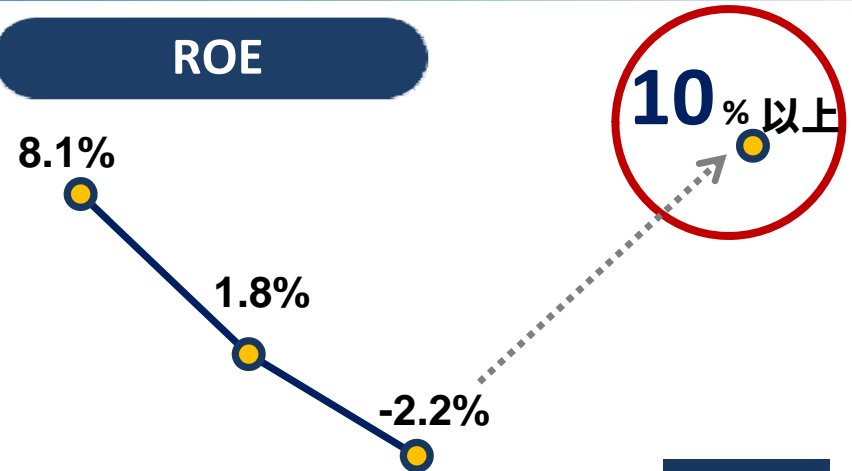
3. 中期経営計画の進捗状況

中期経営計画 進捗状況：定量的指標の目標値

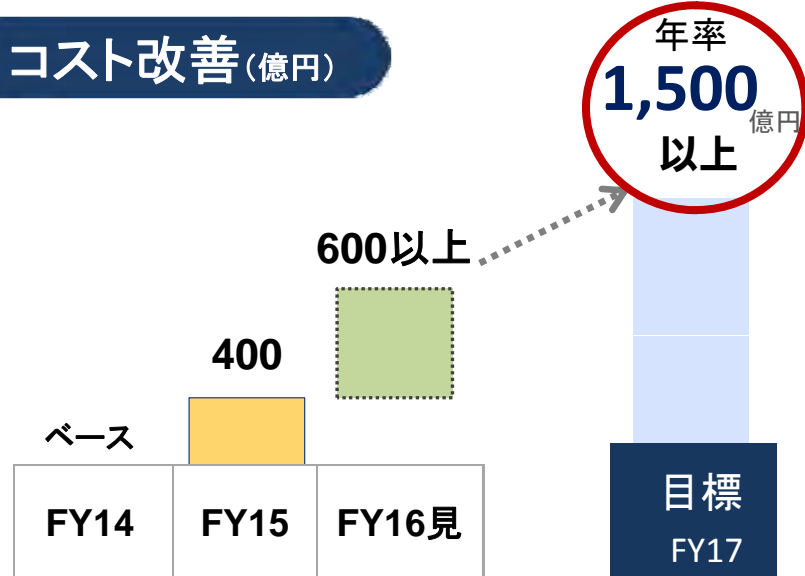
ROS



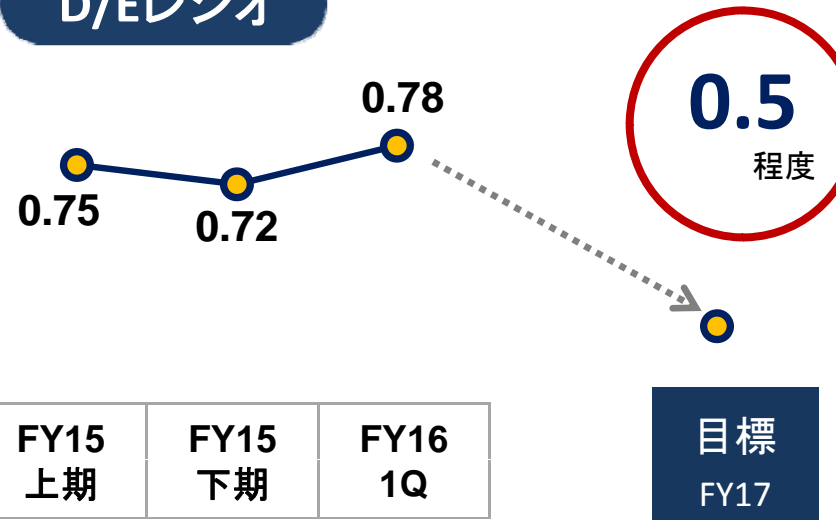
ROE



コスト改善 (億円)



D/Eレシオ



中期計画 進捗状況

	社名／製造所	内容	FY15		FY16		FY17	FY18 以降
			1H	2H	1H	2H		
マザーミルの強化	君津	第3高炉休止		★ 3/12				
	八幡	鉄源最適生産体制構築						★ FY18～20 予定
	鹿島・君津	コークス炉リフレッシュ			★ (鹿/1F) 8月予定	★ (君/第4) 12月予定	★ (鹿/2E) 4月予定	★ (君/第5) 2H 予定
グローバル事業強化 海外JV 生産能力 2012年度末 900万t 足下 1,900 万t	BNA (中国:自動車鋼板/宝鋼とのJV能力拡大)	No.4CGL稼働開始	★	9/15				
	ICI (米国:クランクシャフト/鍛造プレスライン新設)	第4ライン商業生産開始		★ 10/30				
	NSCh (中国:自動車向線材/NBC中国の能力増強)	稼働開始		★ 12/11				
	VAM® BRN (ブルネイ:鋼管/住友商事とのJV)	稼働開始予定				★ FY16 予定		
	KOS (インドネシア:建材/大阪製鐵とPTKSとのJV)	稼働開始予定				★ FY16 予定		
	KNSS (インドネシア:自動車鋼板/PTKSとのJV)	稼働開始予定					★ FY17 予定	
	NSCI (米国:自動車用線材/二次加工メーカーとのJV)	稼働開始予定					★ FY17 予定	
	VSB・VBR統合 (伯:鋼管/パローレックの100%子会社との統合)	経営統合				★ ← → 2016年内 予定		
Gr会社の 選択と集中	大阪製鐵	東京鋼鉄TOB			★ 3/17 完了			
	日鐵住金建材・日鐵住金コラム	経営統合			★ 4/1 完了			
	日鐵住金精密加工	経営統合			★ 7/1 完了			

4. 参考データ

世界の経済成長率推移

<2016年7月19日IMF改定値>

前回(2016.4.12)

	CY08	CY09	CY10	CY11	CY12	CY13	CY14	CY15	CY16 見通し	CY17 見通し
世界合計	3.0	-0.5	5.3	3.9	3.4	3.4	3.4	3.1	(3.2) 3.1	(3.5) 3.4
先進諸国	0.5	-3.4	3.2	1.7	1.2	1.4	1.9	1.9	(1.9) 1.8	(2.0) 1.8
米国	0.4	-2.6	3.0	1.8	2.3	2.2	2.4	2.4	(2.4) 2.2	(2.5) 2.5
欧州	0.6	-4.1	1.9	1.5	-0.7	-0.4	0.9	1.7	(1.5) 1.6	(1.6) 1.4
日本	-1.2	-6.3	4.4	-0.6	1.5	1.6	0.0	0.5	(0.5) 0.3	(-0.1) 0.1
新興諸国	6.1	2.7	7.5	6.2	5.1	5.0	4.6	4.0	(4.1) 4.1	(4.6) 4.6
中国	9.6	9.2	10.4	9.3	7.7	7.7	7.3	6.9	(6.5) 6.6	(6.2) 6.2
インド	7.3	6.8	10.6	6.3	4.7	6.9	7.2	7.6	(7.5) 7.4	(7.5) 7.4
ASEAN5*	4.7	1.7	7.0	4.5	6.2	5.1	4.6	4.8	(4.8) 4.8	(5.1) 5.1
ロシア	5.6	-7.8	4.3	4.3	3.4	1.3	0.7	-3.7	(-1.8) -1.2	(0.8) 1.0
ブラジル	5.1	-0.6	7.5	2.7	1.0	2.7	0.1	-3.8	(-3.8) -3.3	(0.0) 0.5

(出所: IMF)

* ASEAN 5 : タイ、マレーシア、インドネシア、フィリピン、ベトナム

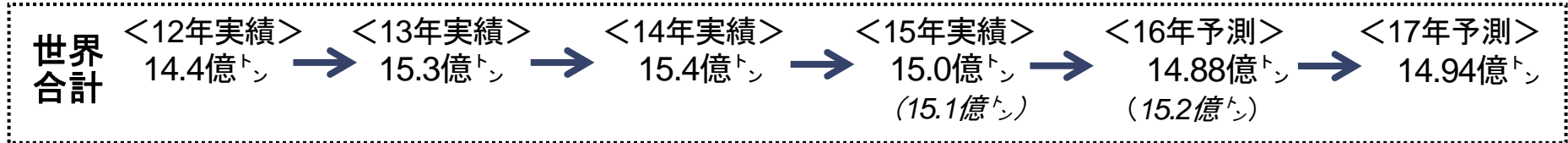


新日鐵住金

NIPPON STEEL & SUMITOMO METAL

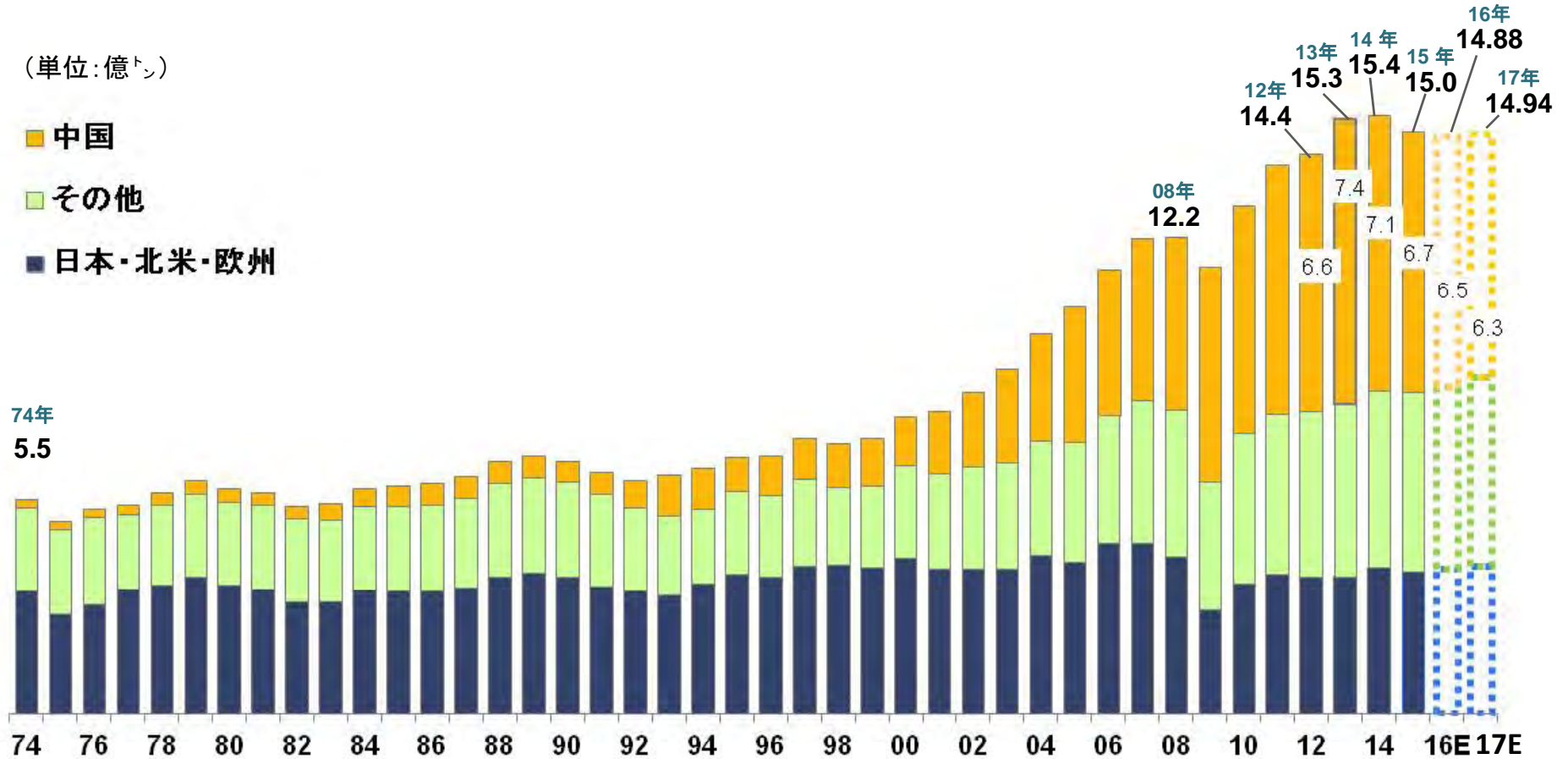
世界の鉄鋼需要推移(鋼材見掛消費) <2016年4月13日WSA改訂値>

前回(2015年10月12日)



(単位:億トﾝ)

- 中国
- その他
- 日本・北米・欧州



(出所: World Steel Association)

世界月別粗鋼生産量

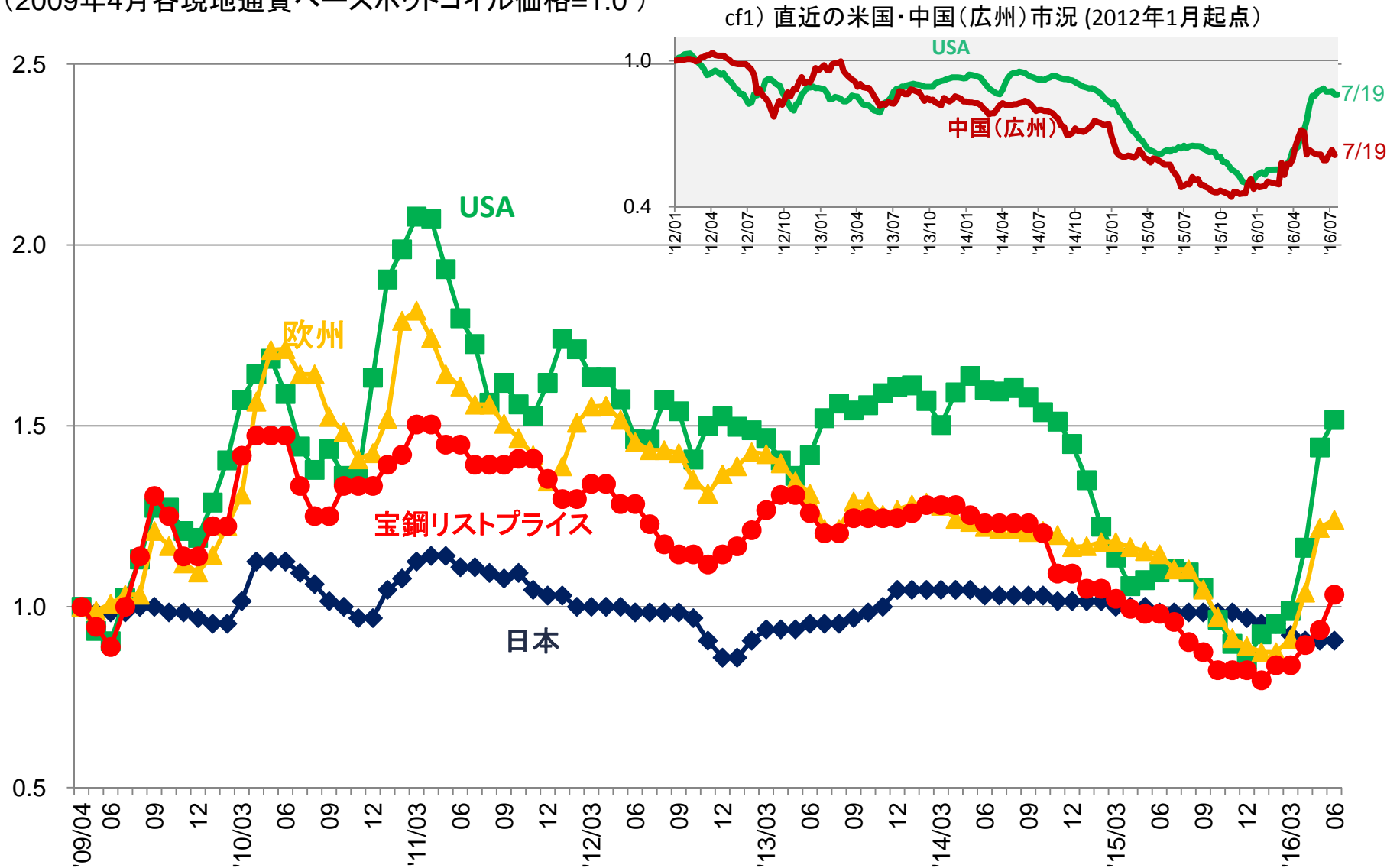
(百万トン)	CY15 [A]	CY16						CY16 年率換算 [C] (B*12/6)	差異 (A → C)
		1-3	4	5	6	4-6	1-6 [B]		
世界計* (前年同期比)	1,597.8 (-3.0%)	386.0 (-3.3%)	134.8 (-0.6%)	139.4 (+0.1%)	135.7 (+0.0%)	410.0 (-0.2%)	795.9 (-1.7%)	1,591.9	-6.0 (-0.4%)
日本 (前年同期比)	105.2 (-5.0%)	25.8 (-3.4%)	8.5 (+1.1%)	8.9 (+0.2%)	8.8 (+2.7%)	26.2 (+1.3%)	52.0 (-1.1%)	104.1	-1.1 (-1.0%)
韓国 (前年同期比)	69.7 (-1.9%)	16.5 (-2.7%)	5.6 (-2.0%)	5.8 (-3.5%)	5.5 (-6.7%)	16.9 (-4.1%)	33.4 (-3.4%)	66.7	-3.0 (-4.2%)
米国	78.8	19.7	6.6	7.0	6.8	20.4	40.1	80.1	+1.3
EU28	166.1	41.1	13.5	14.4	13.8	41.6	82.7	165.5	-0.6
ロシア	70.9	17.4	6.0	6.0	5.8	17.8	35.2	70.4	-0.5
ブラジル	33.3	7.4	2.3	2.6	2.5	7.4	14.9	29.7	-3.5
インド	89.4	22.9	7.6	8.0	7.8	23.5	46.4	92.8	+3.4
中国 (前年同期比)	803.8 (-2.3%)	191.7 (-3.2%)	69.4 (+0.5%)	70.5 (+1.8%)	69.5 (+1.7%)	209.4 (+1.3%)	401.1 (-0.9%)	802.2	-1.6 (-0.2%)

(出所 : World Steel Association)

* 世界66カ国の合計値

世界各国ホットコイル市況推移

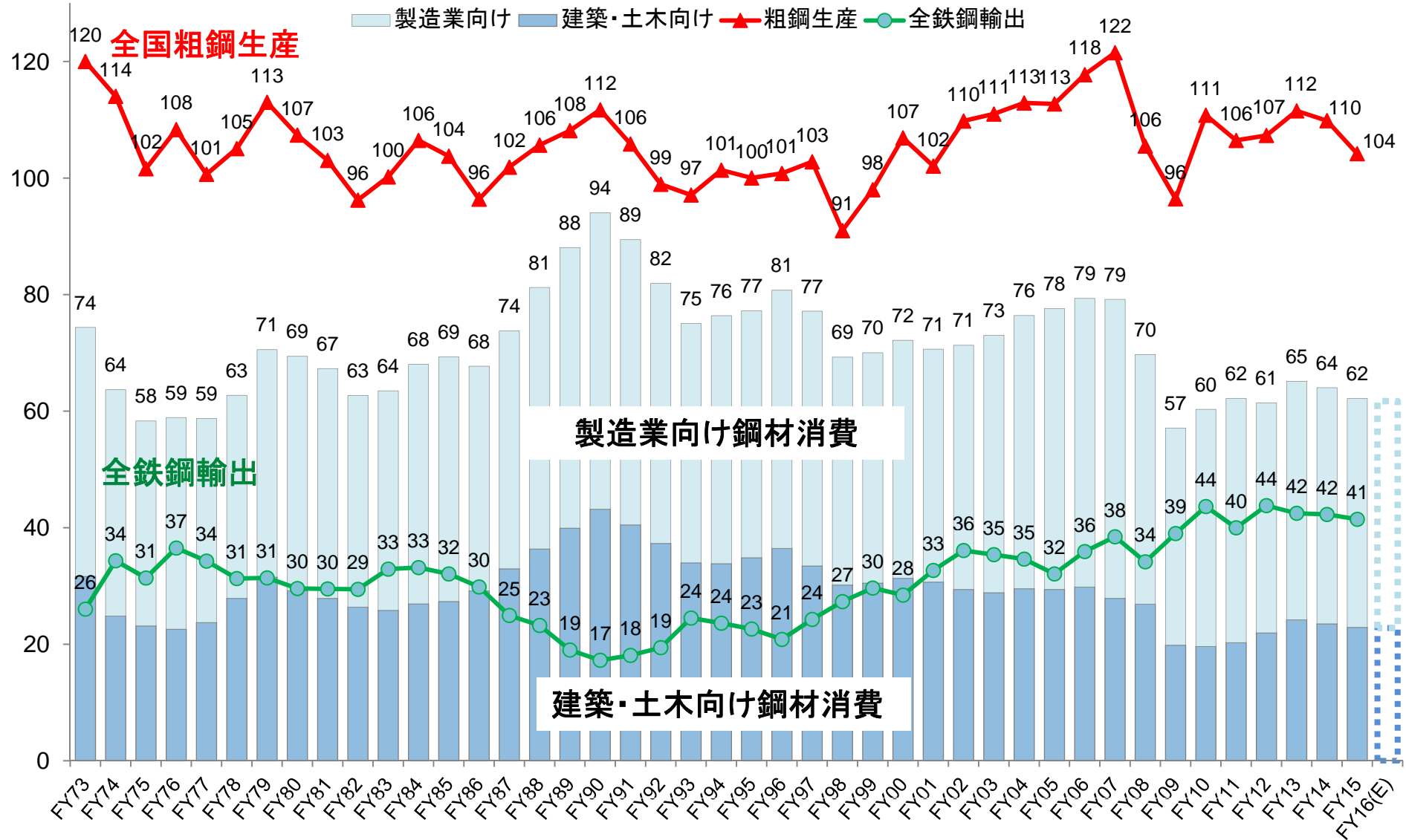
(2009年4月各現地通貨ベースホットコイル価格=1.0)



(出所: 日本鉄鋼連盟等データより当社作成)

国内鋼材消費推移

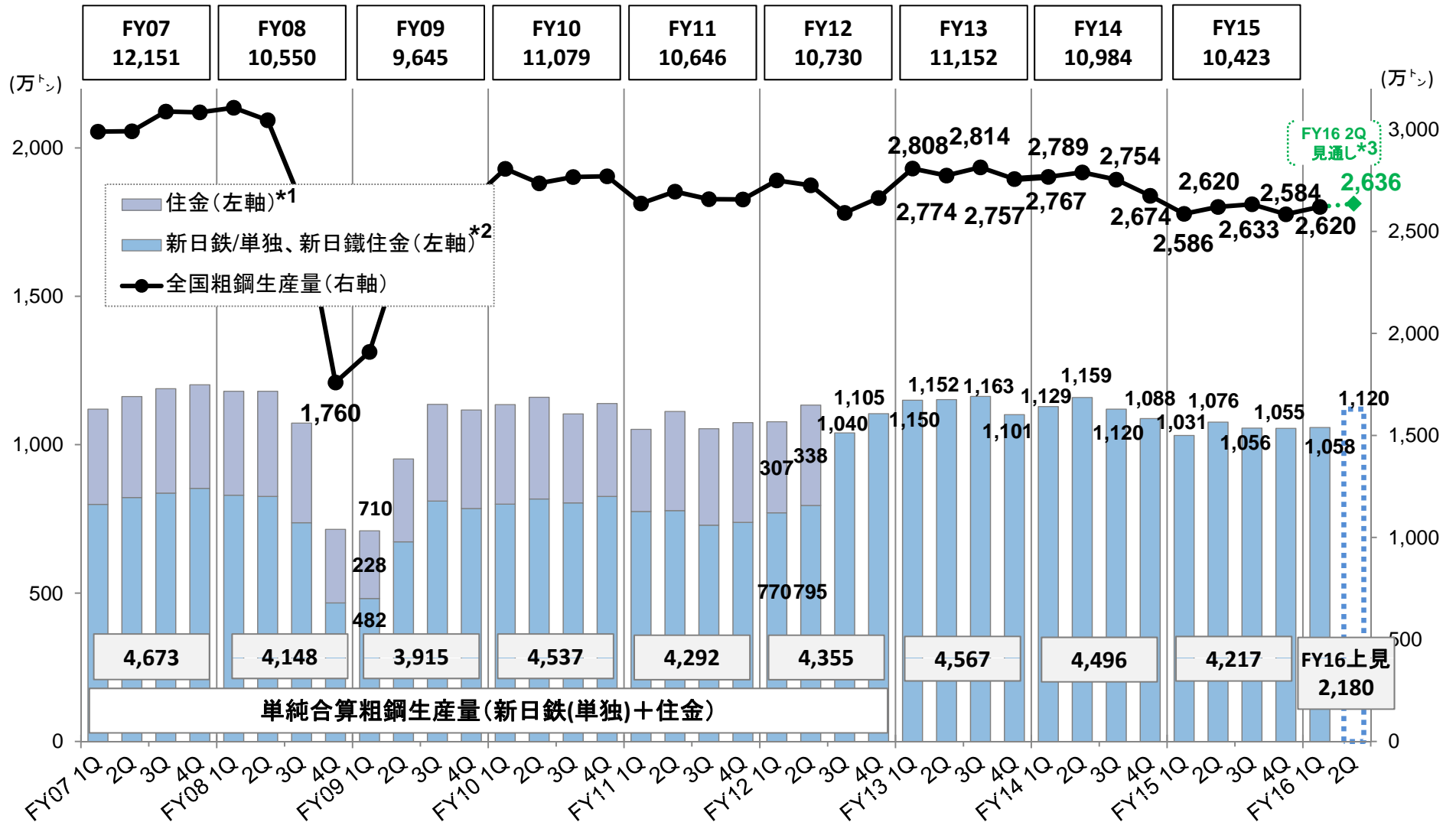
(百万ト)



(出所:各種統計資料・当社推定)

国内粗鋼生産量 四半期別推移

全国粗鋼生産量



*1 住金: 旧住金小倉・住金直江津・住金鋼鉄和歌山含み

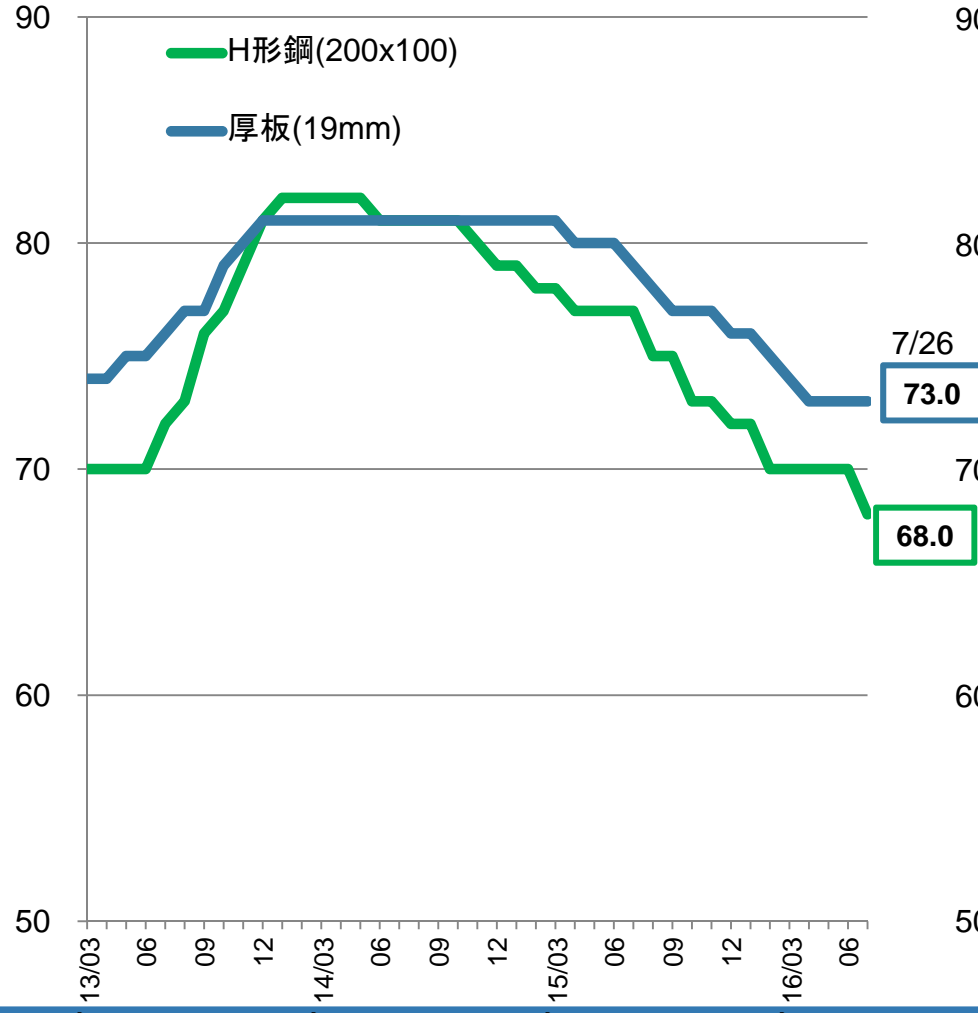
*2 新日鉄住金: 日鉄住金鋼鉄和歌山含み

*3 経済産業省発表 FY16.2Q鋼材需要見通し

国内鋼材市況（店頭価格）

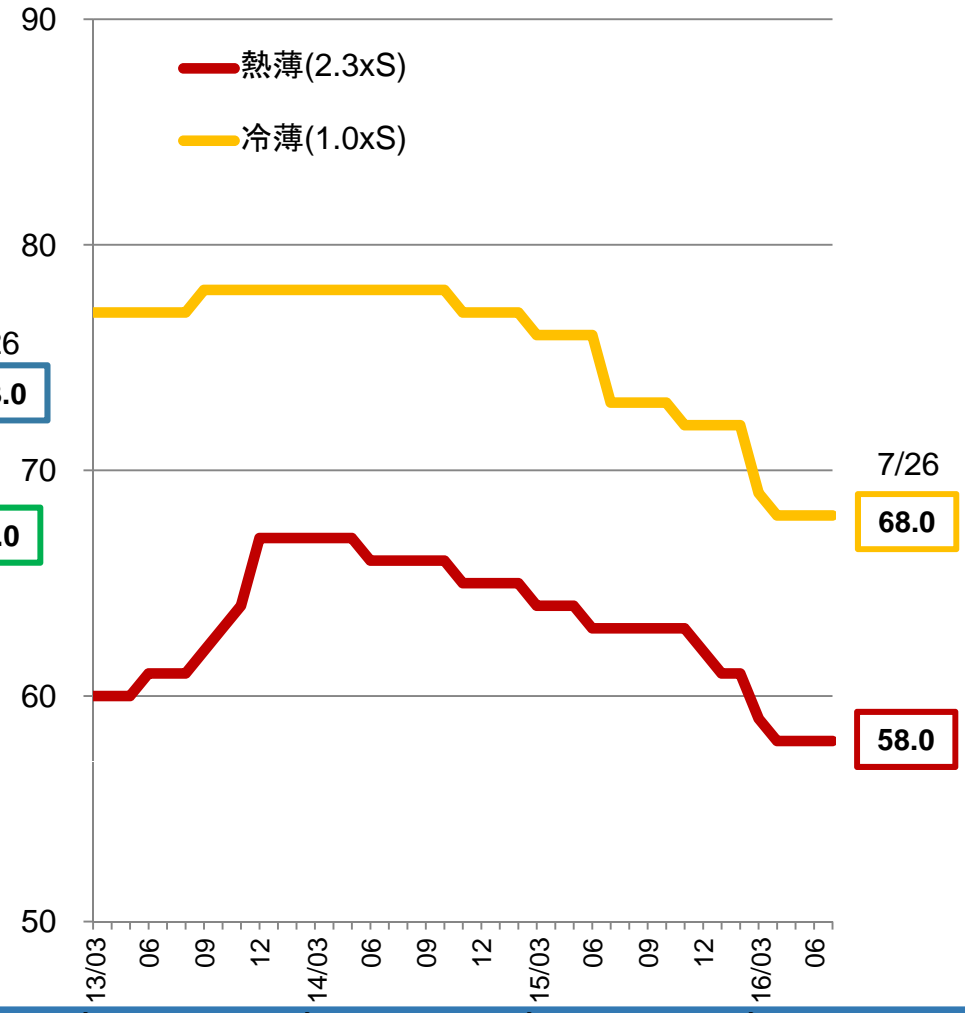
厚板・H形鋼

(千円/トン)



熱延・冷延

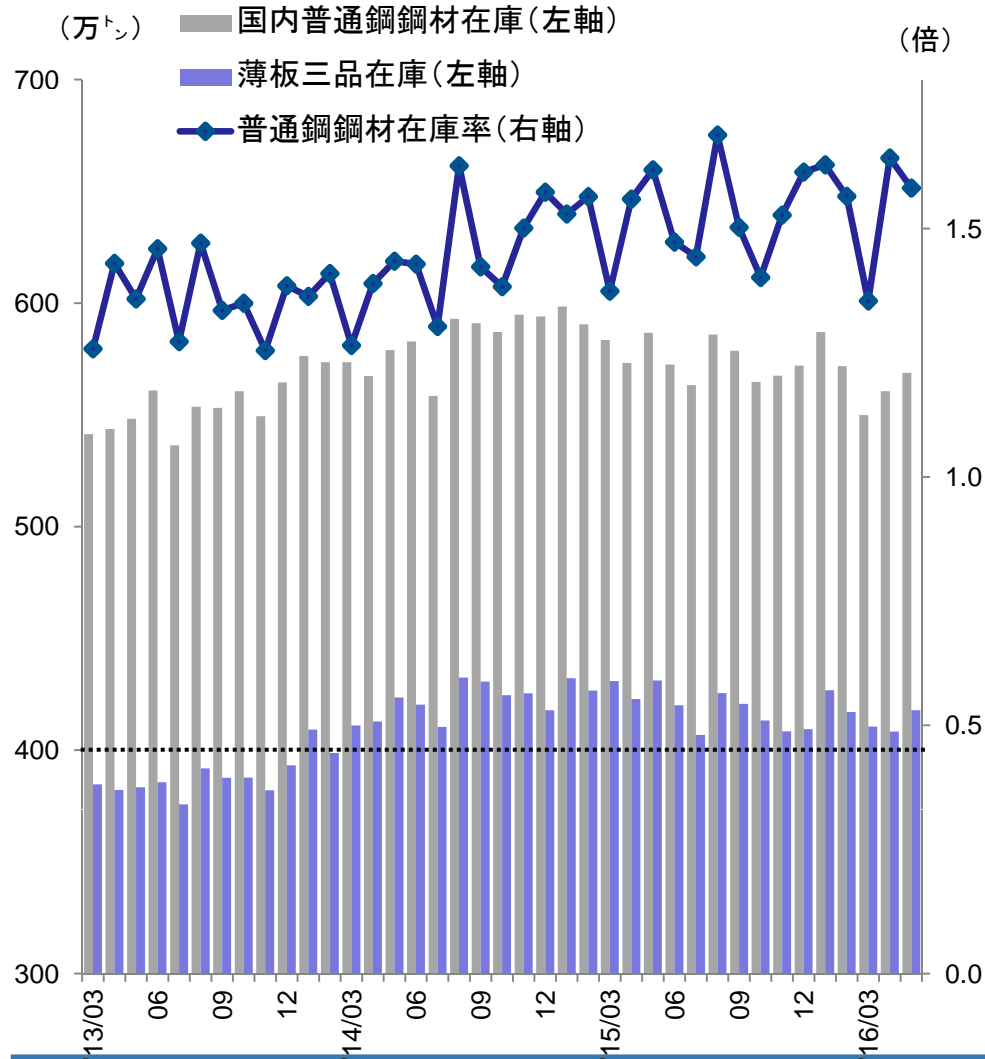
(千円/トン)



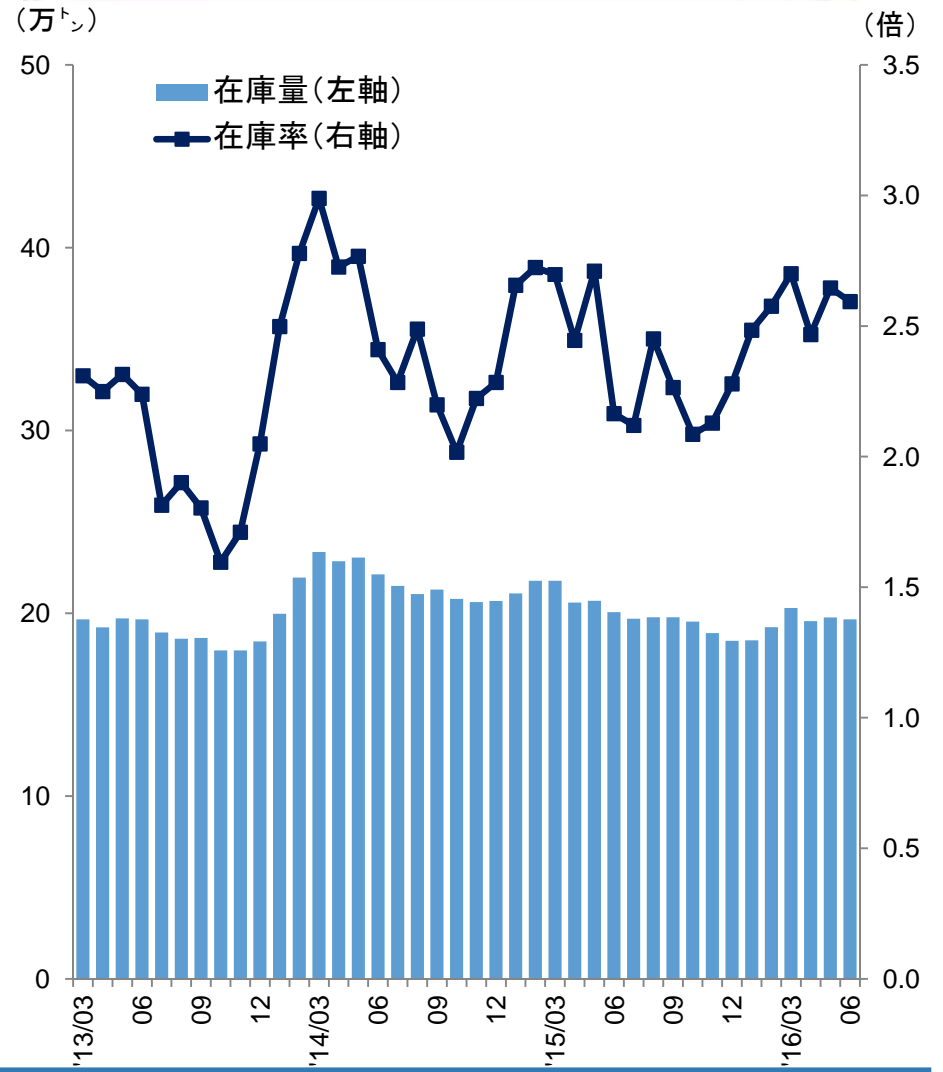
(出所: 鉄鋼新聞・月末・東京安値、問屋間仲間相場価格)

国内鋼材在庫推移

普通鋼鋼材・薄板三品在庫



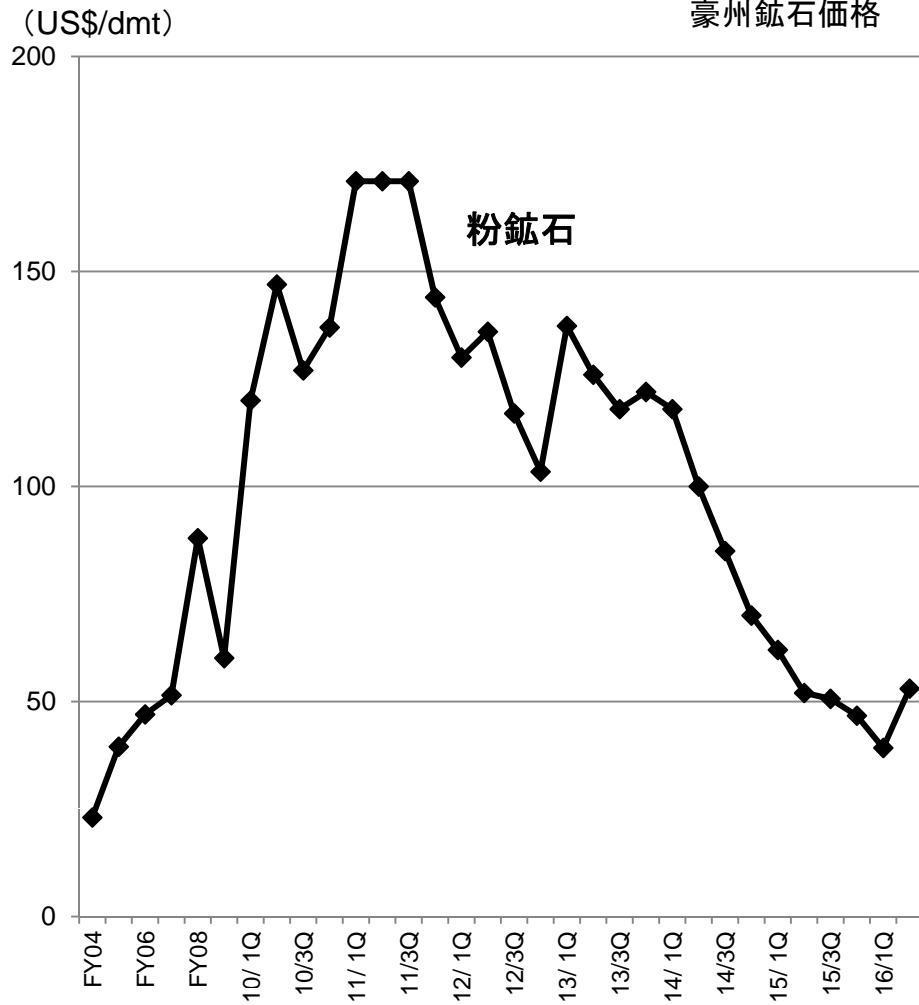
ときわ会(H形鋼)在庫



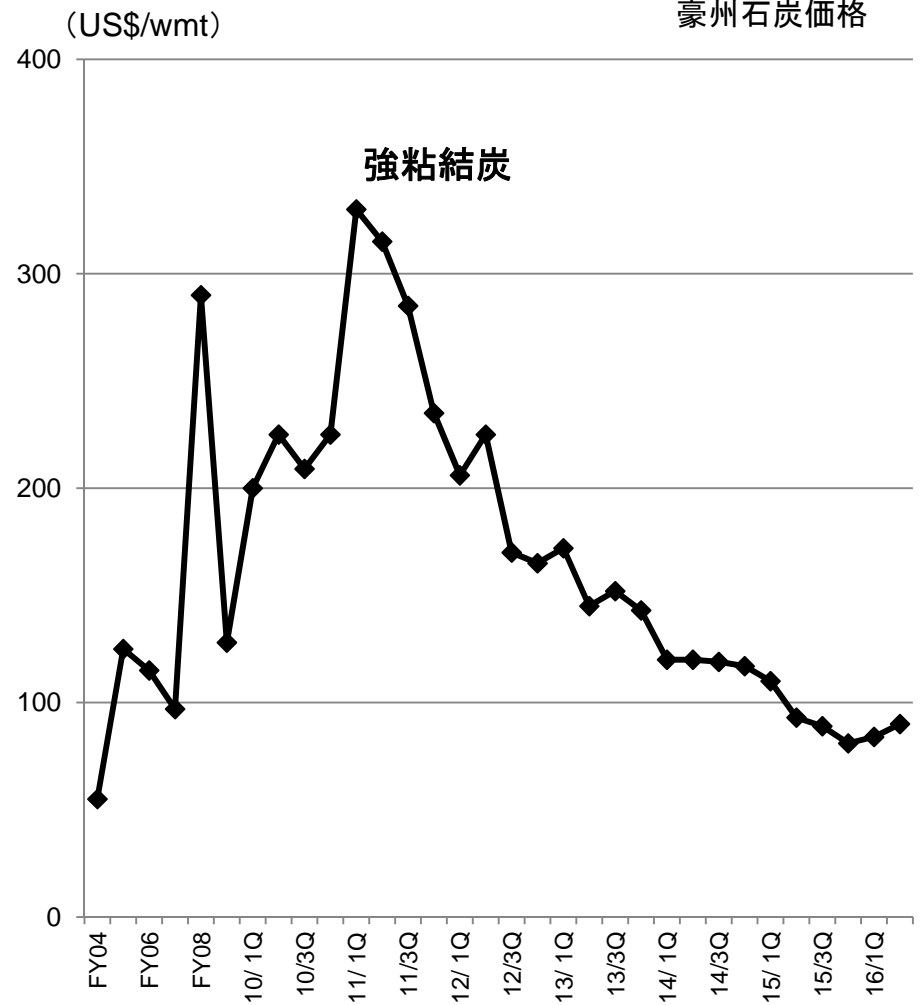
(出所:日本鉄鋼連盟)

原料価格推移 <鉄鉱石・原料炭>

鉄鉱石

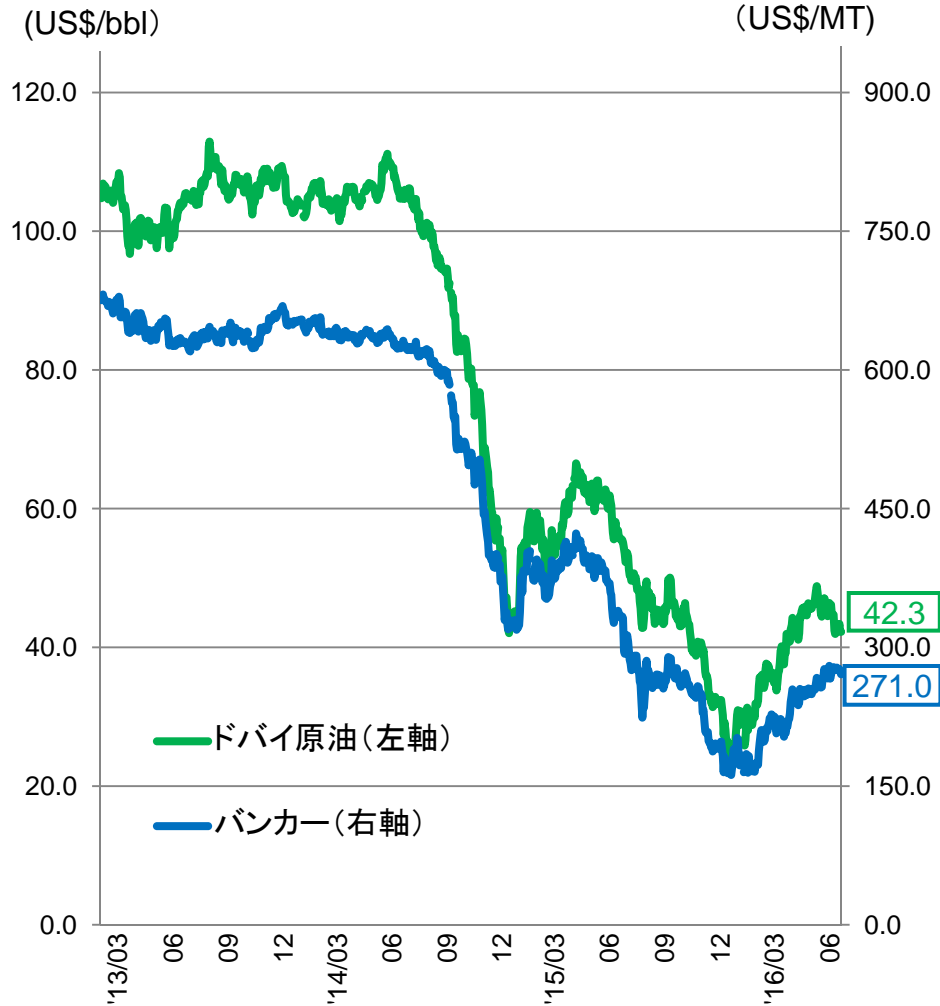


原料炭

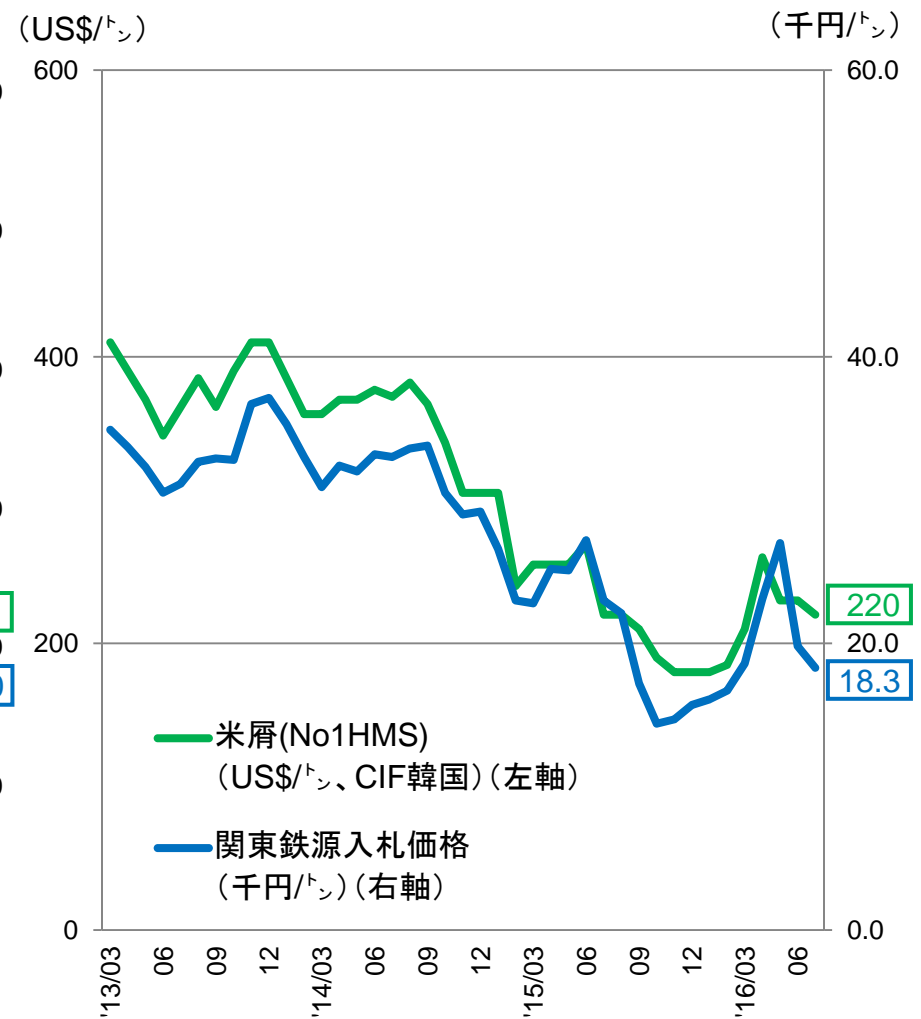


原料市況 <原油・スクラップ>

原油



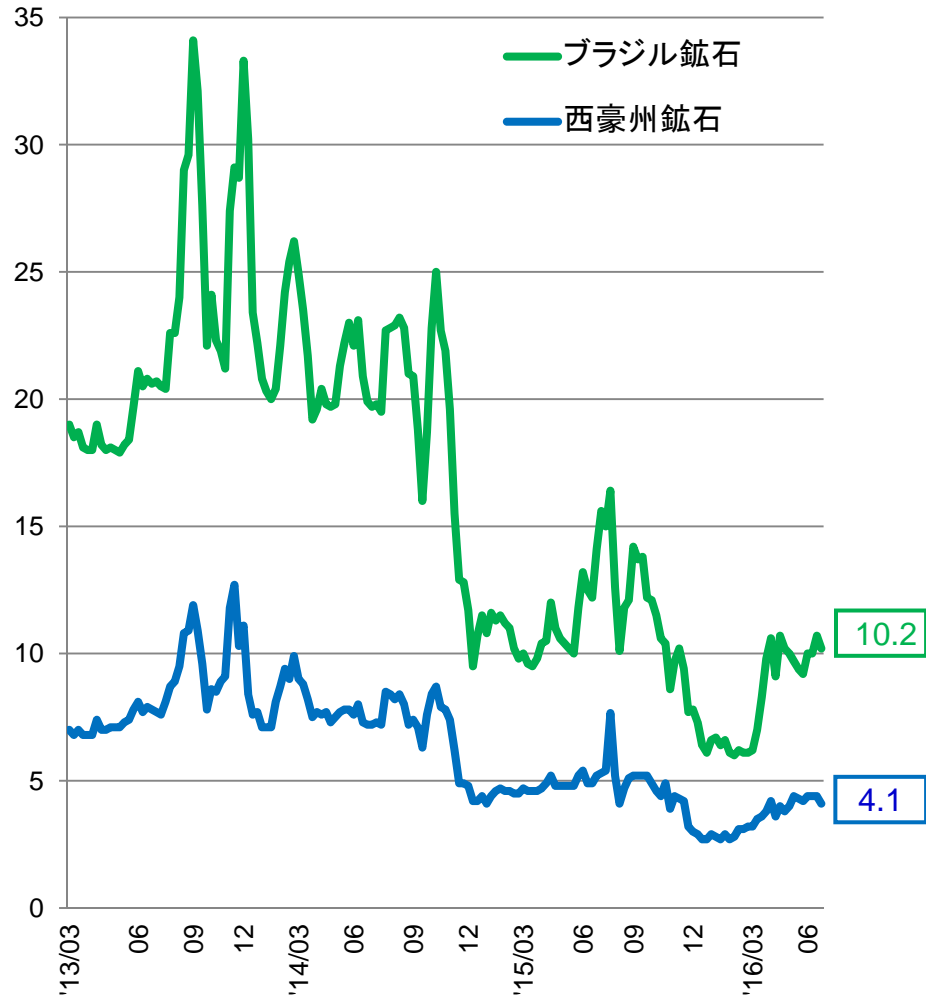
スクラップ



原料市況 <フレート・型鉄>

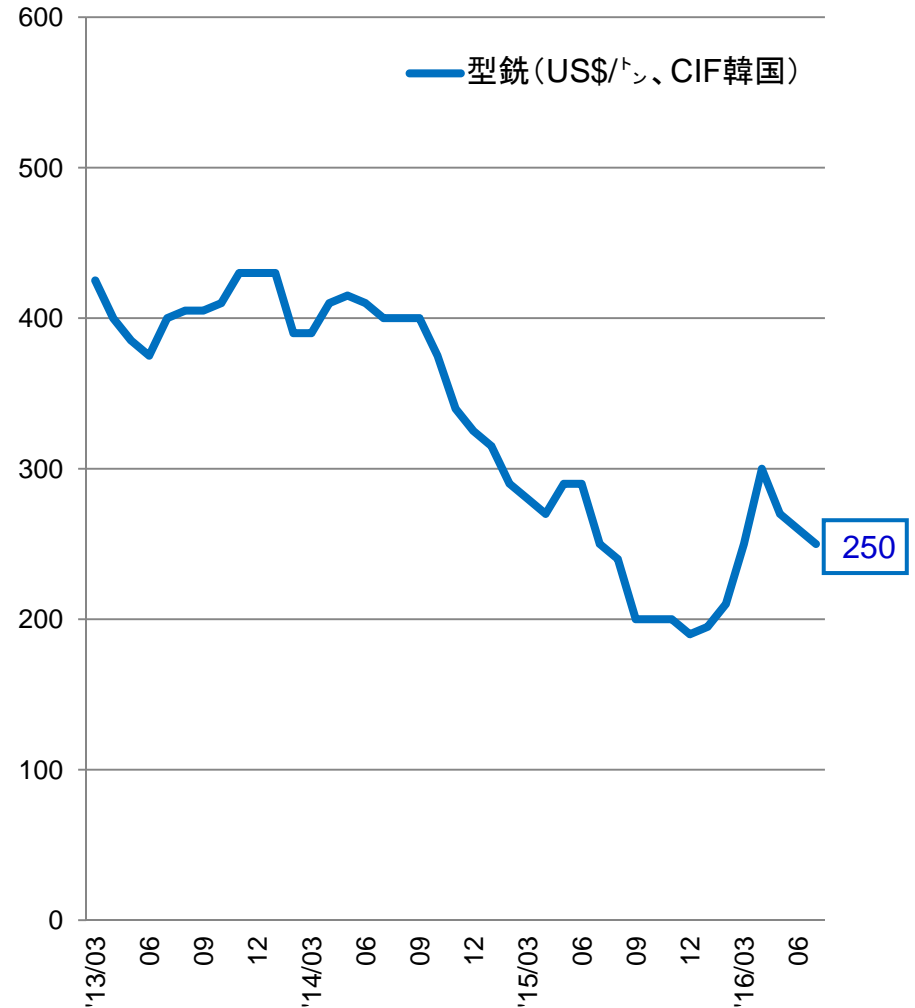
フレート

(US\$/WMT, ケープサイズ 170千t船型)



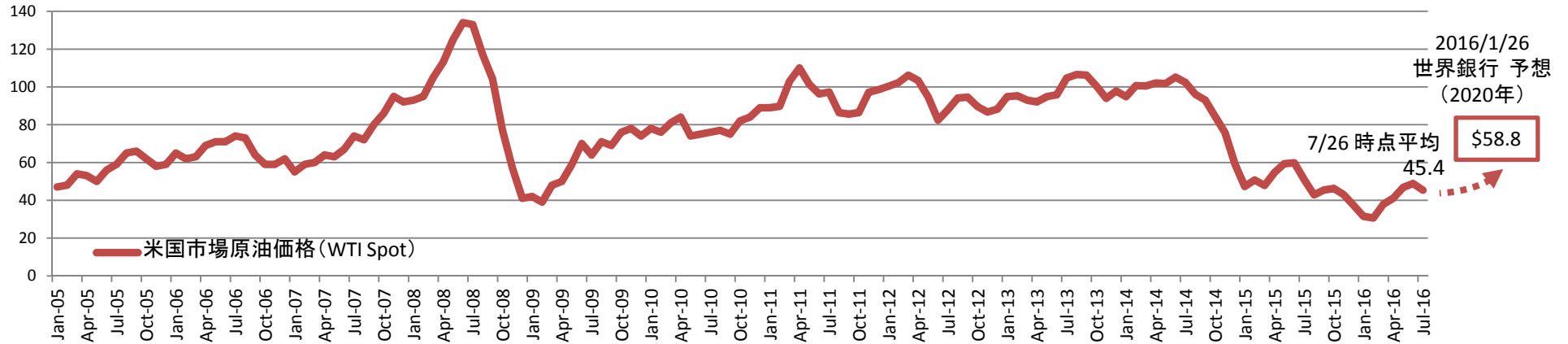
型鉄

(US\$/T, CIF 韓国)

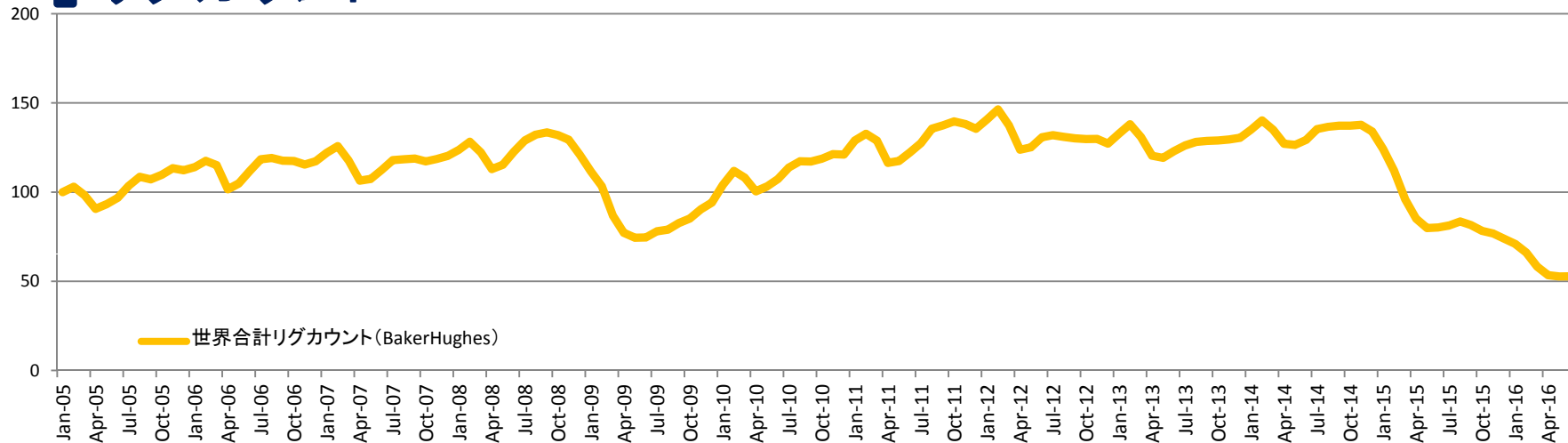


エネルギー関連指標の推移

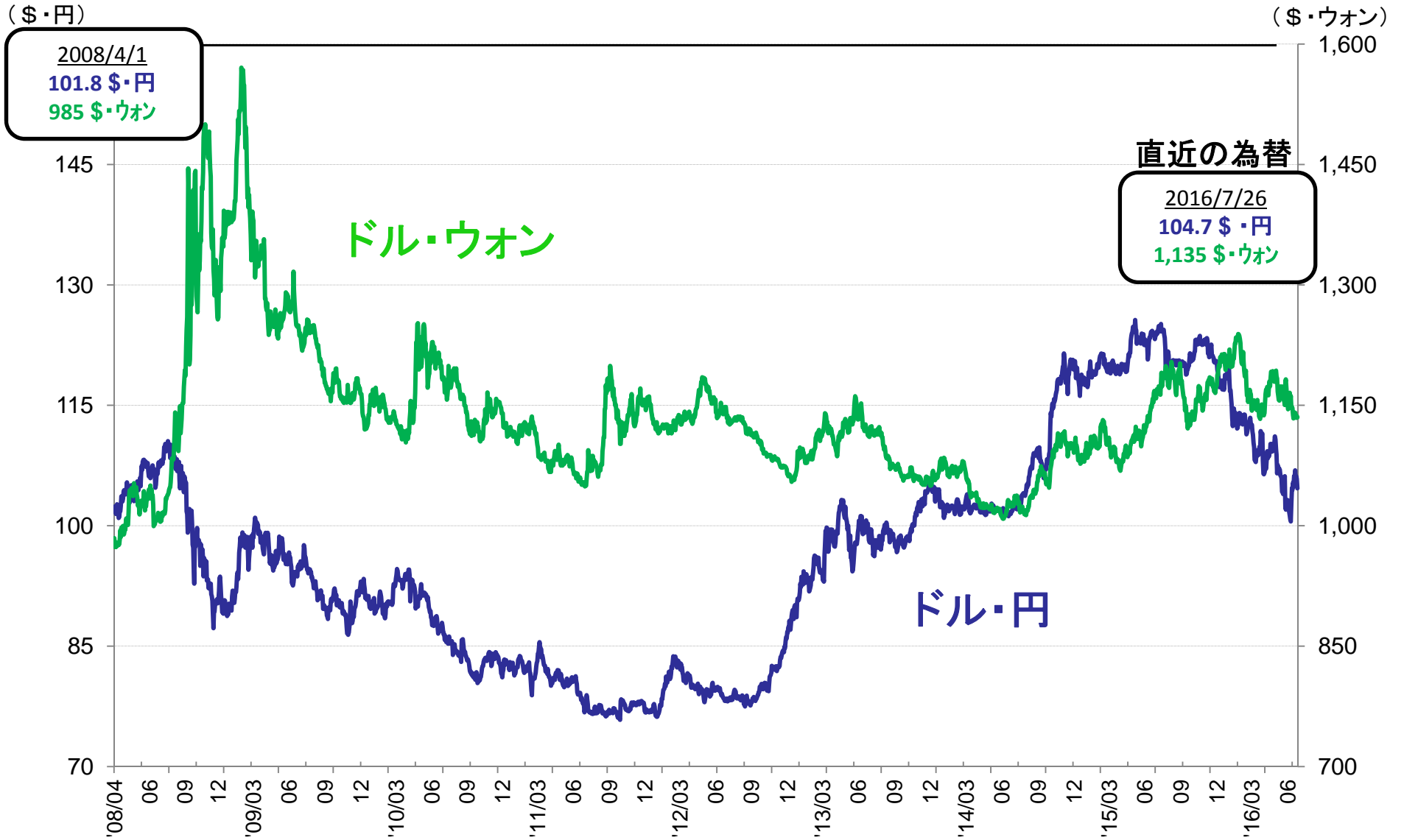
原油価格



リグカウント (2005年1月=100)



為替推移 (ドル・円, ドル・ウォン)



本資料は、金融商品取引法上のディスクロージャー資料でなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、本資料に記載された将来の予測等は、説明会の時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、不確定要素を含んでおります。従いまして、本資料のみに依拠して投資判断されますことはお控えくださいますようお願い致します。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。